

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-9

< 第38週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 - 定点当たり報告数は第23週から減少し続けていたが、第35週からは増加している / その他最新動向

< 8月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.10-11

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 2004年第38週の現段階での報告数は96例であった。1週間当たりの報告数は第30週を除き、第29週以降ほぼ同数で推移していたが、第36週からは3週連続で減少している



病原体情報
P.12-13

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年 / 手足口病患者から検出されているウイルス 2004年 / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2004年



速報
P.14-17

仙台市内および仙台市周辺における真夏のRSウイルス感染症の流行、2004年7~8月 / Neurology誌(2004年)に掲載されたHernánらによる最近の研究、“組換えB型肝炎ワクチンと多発性硬化症の罹患リスク”に関するWHOのQ&A(抄訳) - 2004年9月



海外感染症情報
P.18

チャドでのE型肝炎流行



感染症の話
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(38週)
P.20-26



グラフ総覧(8月)
P.27-31



8月のデータ
P.32-35



38週のデータ
P.36-45



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第38週コメント > 9月24日集計分

全数報告の感染症

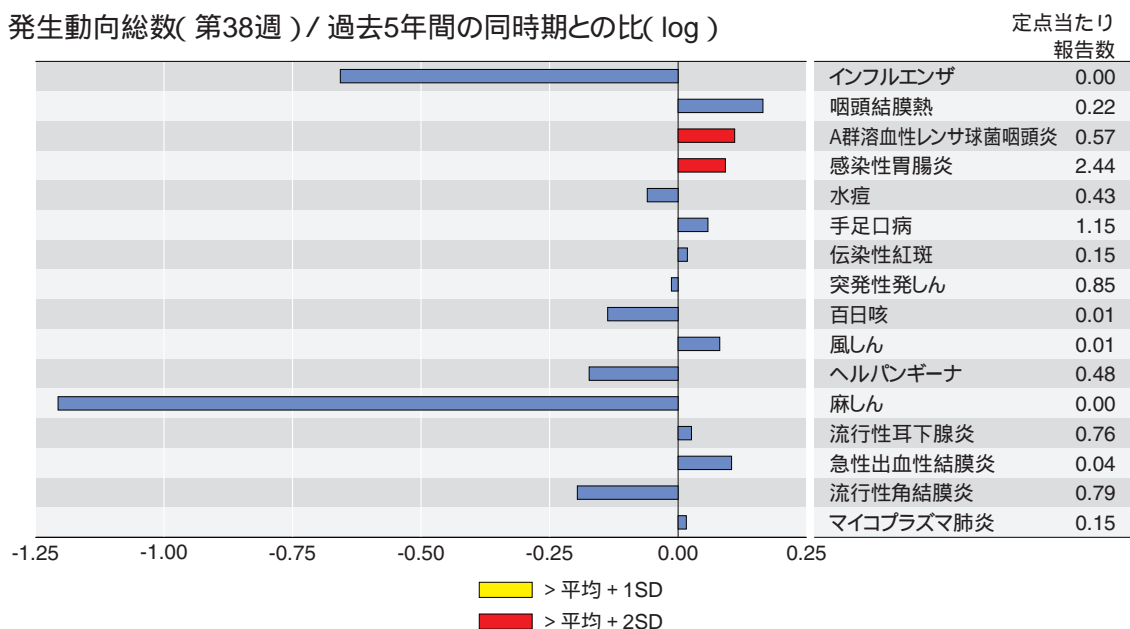
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ 4例(推定感染地域: インド2例、フィリピン1例、国内1例)
細菌性赤痢 14例(推定感染地域: 国内3例、インド4例、中国4例、イラン1例、ジンバブエ1例、タイ1例)
パラチフス 5例(推定感染地域: 中国1例、インド1例、インドネシア1例、インド/ネパール1例、インド/ネパール/タイ/カンボジア1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 96例(うち有症者69例)
報告の多い都道府県: 鳥取県(22例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(42例)、O157 VT2(19例)、O26 VT1(13例)、O157 VT1(4例)、O111 VT1・VT2(3例)、O111 VT1(2例)、O26 VT2(1例)、その他(12例)
年齢: 10歳未満(33例)、10代(27例)、20代(13例)、30代(9例)、40代(4例)、50代(3例)、60代(4例)、70歳以上(3例)
- 4類感染症: コクシジオイデス症 1例[推定感染地域: 米国(アリゾナ州)]
日本紅斑熱 5例(島根県2例、高知県2例、愛媛県1例)
マラリア 3例 三日熱 1例__推定感染地域: パプアニューギニア
熱帯熱 2例__推定感染地域: ともにナイジェリア
レジオネラ症 1例(66歳)
E型肝炎 1例(推定感染地域: 東南アジア)
A型肝炎 3例(推定感染地域: いずれも国内)
レプトスピラ症 1例(推定感染地域: 国内)
- 5類感染症: アメーバ赤痢 7例(推定感染地域: 国内5例、不明2例)
推定感染経路: 経口感染2例、イヌ1例、不明4例)
ウイルス性肝炎 4例(いずれもB型__推定感染経路: 性的接触3例、不明1例)
クリプトスポリジウム症 2例(ともに千葉県 . 推定感染地域: 国内)
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性 . 推定感染経路: ヒト乾燥硬膜)
後天性免疫不全症候群 15例(無症候10例、AIDS 5例)
推定感染経路: 性的接触13例(異性間5例、同性間8例)、不明2例
推定感染地域: 国内14例、不明1例
ジアルジア症 3例(推定感染地域: 国内2例、インド1例)
梅毒 5例(早期顕症1期2例、早期顕症II期1例、無症候2例)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例
(遺伝子型: VanB 1例__菌検出検体: 便 . 型不明1例__菌検出検体: 血液)

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第38週)/過去5年間の同時期との比(log)

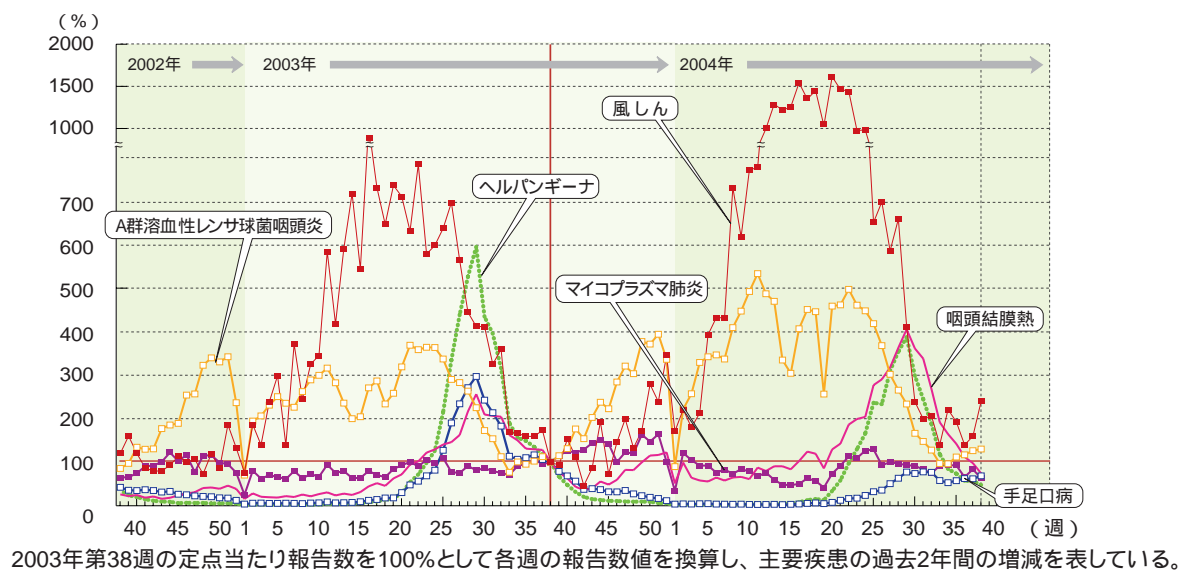


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第11週から増加傾向が認められ、第25週には過去10年間の全ての週と比較して最高値となった。その後も第29週まで最高値を更新し続けたが、第30週からは減少している。都道府県別では福井県(1.6)、高知県(0.8)、熊本県(0.8)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第23週から減少し続けていたが、第35週からは増加している。過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多く、都道府県別では富山県(1.6)、大分県(1.6)、鳥取県(1.5)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第12週から減少傾向が続いていたが、第34週からわずかに増加している。過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では福井県(6.8)、三重県(4.9)、鳥取県(4.7)、島根県(4.7)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第20週から第29週まで緩やかに増加し、その後第32週までほぼ横ばいで推移した。第33週から減少したが、第35週からは再びわずかに増加している。都道府県別では宮崎県(8.6)、福井県(3.9)、大分県(3.7)が多い。風しんの定点当たり報告数は前週とほとんど同値で、都道府県別では17都道府県から報告があったが、いずれも0.1未満であった。麻しんの定点当たり報告数は前週とほとんど同値で、第1週から継続して、過去10年間の当該週と比較して最低値を示している。6都道府県から報告があったが、定点当たり報告数はいずれも0.1未満であった。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて33都道府県から報告がなされ、報告数は合計39例であった。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少し、都道府県別では秋田県(1.0)、群馬県(0.7)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第38週)



8月コメント

性感染症について(9月8日集計分) 性感染症定点数: 922

2004年8月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.53(男1.54、女1.99)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.83(男0.33、女0.50)、尖圭コンジローマが0.61(男0.36、女0.26)、淋菌感染症が1.72(男1.45、女0.26)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べ、男性では横ばい、女性ではいずれも減少した(27～30ページグラフ総覧参照)。過去5年間の同時期と比較すると、男性で、尖圭コンジローマは平均+2標準偏差(SD)を越え、性器ヘルペスウイルス感染症は平均+2SDを下回った(図2)。

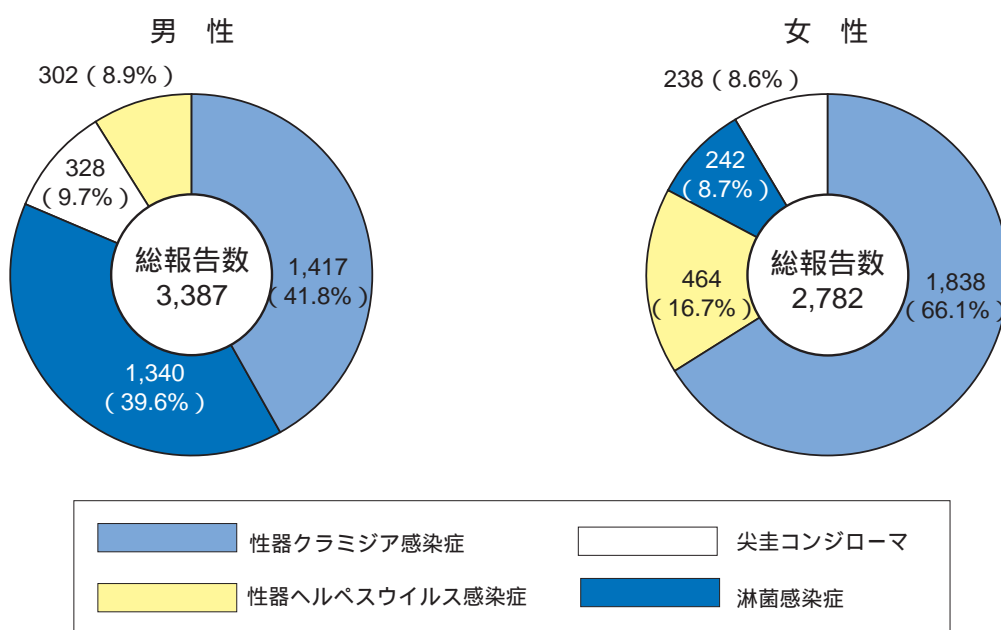
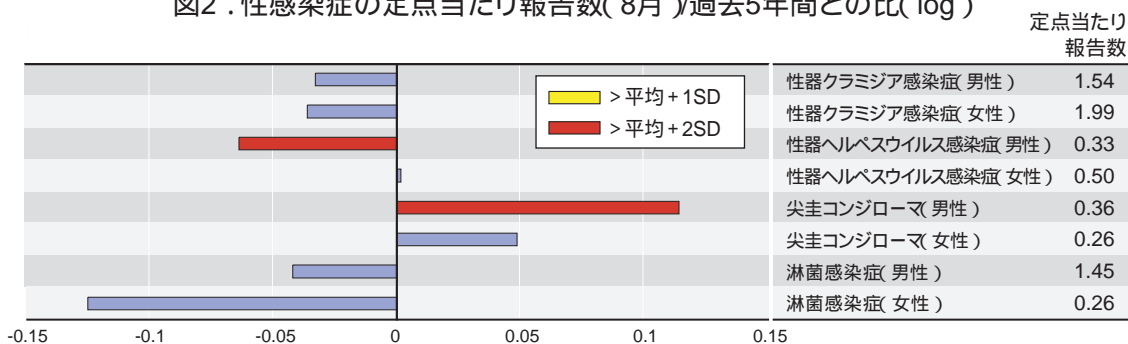


図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(8月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(8月)過去5年間との比(log)



当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると(図3)、いずれの疾患でもピークは20~29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からの報告も少ない。淋菌感染症では男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数の方が多い。

感染症法が施行された1999年4月以降について、男性における性器ヘルペスウイルス感染症、および尖圭コンジローマの年齢階級別月別定点当たり報告数の推移を図4に示した。25歳以上の年齢群において、性器ヘルペスウイルス感染症ではやや減少気味なのに比べ、尖圭コンジローマでは増加傾向が認められる。

注: 本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細はIDWR週報2000年第46号(10月報) 4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の年齢階級別・性別グラフ(8月)

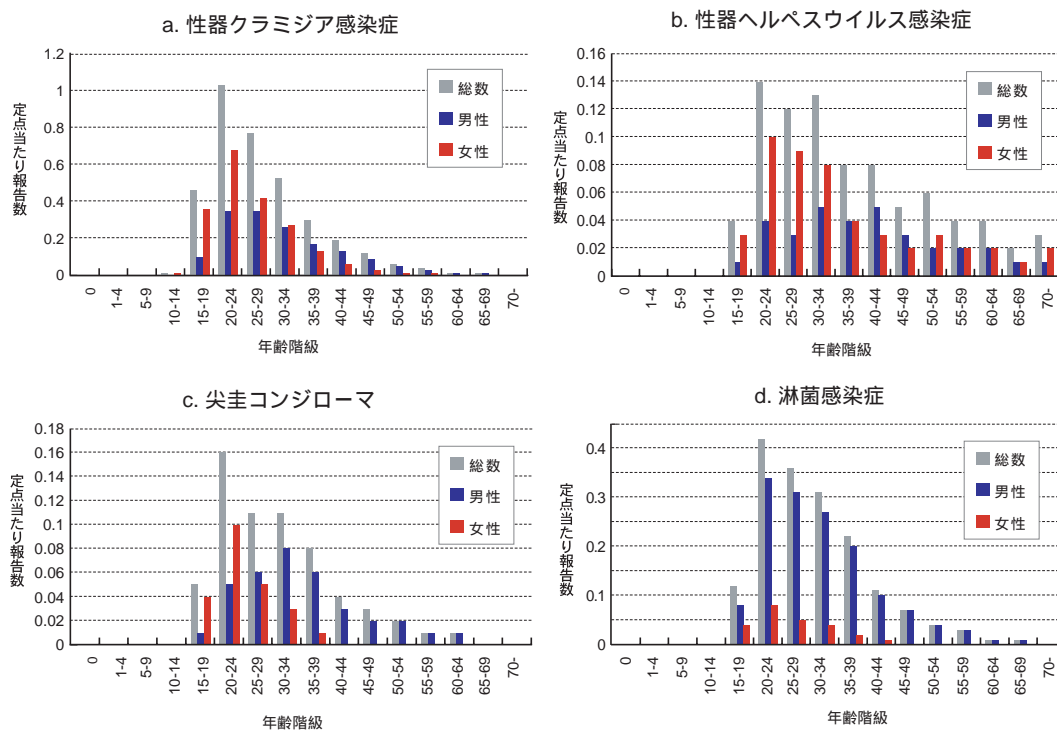
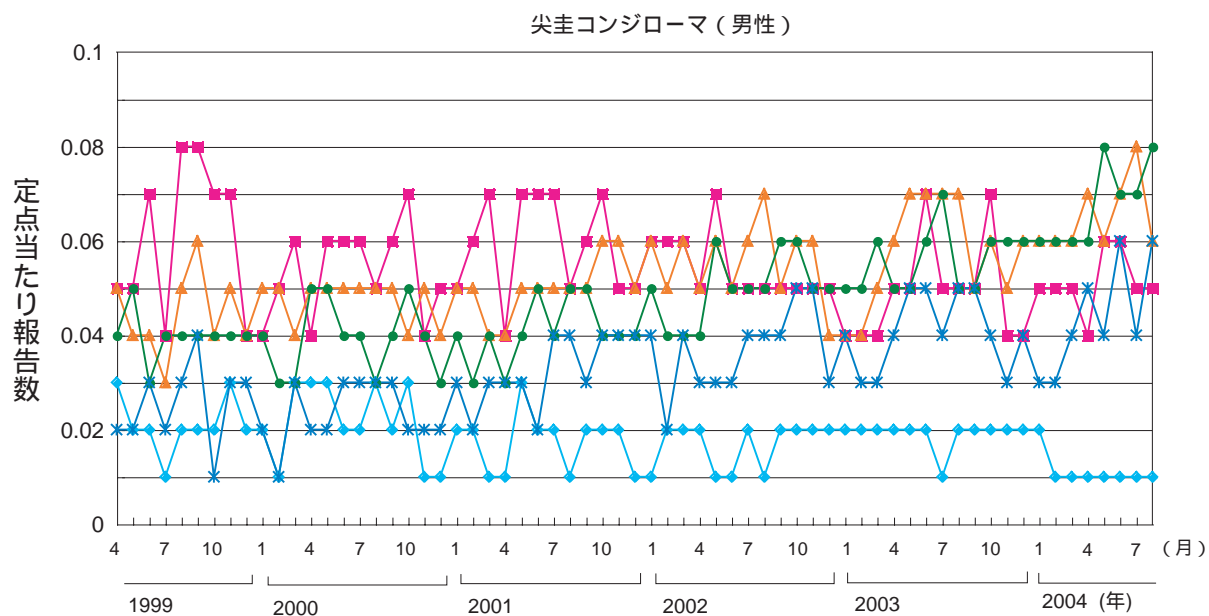
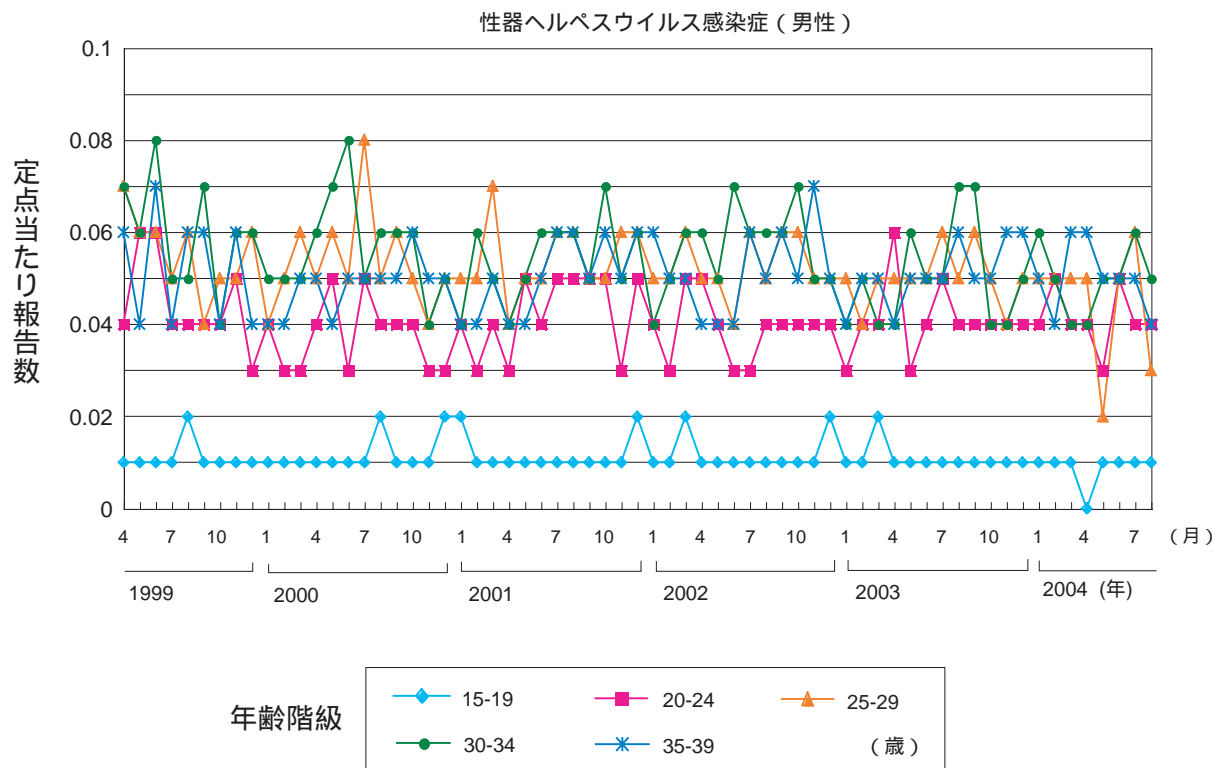


図4. 男性における性器ヘルペスウイルス感染症および尖圭コンジローマの年齢階級別月別グラフ



薬剤耐性菌感染症について(9月8日集計分)

8月の定点(基幹定点)総数: 470

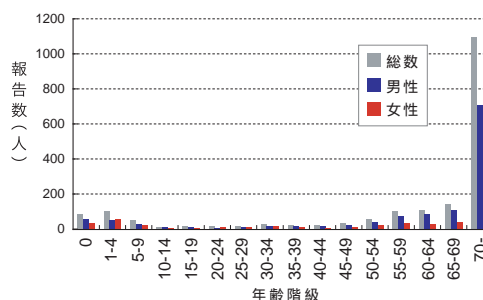
[定点当たり報告数]

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

4.01(前月: 3.81、前年同月: 3.99)

月別には年間を通してほぼ一定の報告数で、年別には微増傾向が認められている。8月の定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同月との比較では、過去2年間とほぼ同値であった。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

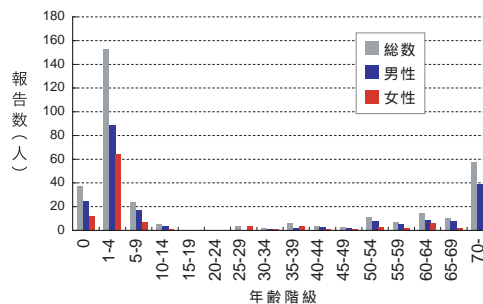


ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

0.72(前月: 0.84、前年同月: 0.84)

過去には、春から初夏にかけて(4 ~ 6月)と冬(11、12月)に多く推移していたが、2004年は1月から6月までほぼ一定の報告数で推移した。しかし、7月は過去と同様に減少を示し、8月の定点当たり報告数も減少した。過去5年間の同月との比較では、2003年、2002年に次いで多かった。

図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

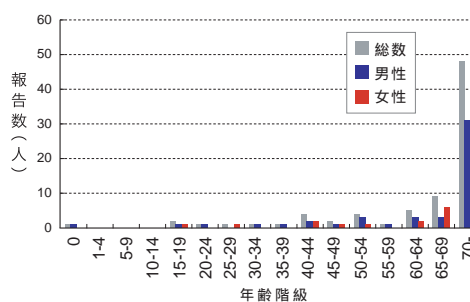


薬剤耐性緑膿菌感染症

0.17(前月: 0.14、前年同月: 0.17)

年の前半が後半に比してわずかに少ないが、年間を通じてほぼ一定の報告数である。8月の定点当たり報告数は3カ月連続して増加し、過去5年間の同月との比較では、過去3年間とほぼ同値であった。

図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症



[年齢階級別]

MRSA感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の65%(70歳以上が58%)を占めている(図1)、

PRSP感染症...小児に多く、10歳未満が全体の63%(5歳未満が56%)を占めている。また高齢者にも多く、65歳以上が全体の20%(70歳以上が17%)を占めている(図2)、

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の71%(70歳以上が60%)を占めている(図3)、

[性別] (女性を1として算出した男/女比)

MRSA感染症...1.8/1

PRSP感染症...1.7/1

薬剤耐性緑膿菌感染症...1.6/1

[都道府県別]

MRSA感染症...定点当たり報告数は静岡県(7.6)、滋賀県(7.6)、香川県(7.3)が多い。

PRSP感染症...定点当たり報告数は千葉県(9.2)、富山県(3.2)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症...定点当たり報告数は香川県(0.8)、宮城県(0.6)、山口県(0.6)が多い。

結核サーベイランス月報(9月22日集計分)

8月の新登録患者数は2,469人(男性1,571人、女性898人)で、このうち活動性肺結核患者は1,984人(うち喀痰塗抹陽性者は931人)であった。

都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(325人)、大阪府(大阪市を除く)(164人)、大阪市(129人)、埼玉県(さいたま市を除く)(110人)、千葉県(千葉市を除く)(108人)が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は486人、非定型抗酸菌陽性者数は283人であった。

*マル初者...結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。

また、9月15日に、2003年の結核発生動向調査年報が出されました。詳しくは、結核研究所ホームページ(<http://www.jata.or.jp>)をご覧ください。



注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は感染症法に基づく3類感染症として、患者または無症状病原体保有者について、診断した医師は届け出が義務づけられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期的検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や接触者の調査などによって発見される場合が多い。

2004年第38週の現段階での報告数は96例であった。1週間当たりの報告数は第30週を除き、第29週以降ほぼ同数で推移していたが、第36週からは3週連続して減少している(図1)。第38週の報告を都道府県別にみると鳥取県(22例)が多く(図2)、これらは韓国への修学旅行に関連した症例である。

2004年の第38週までの累積報告数は2,914例で、過去3年間の同週までの累積報告数(2001年3,916例、2002年2,727例、2003年1,950例)と比較すると、2002年の状況に近い。都道府県別にみると、東京都(220例)、大阪府(178例)、石川県(167例)、岡山県(163例)が多く(図3)、年齢群別(0～69歳までは10歳毎、および70歳以上)にみると、10歳未満1,216例(42%)、10代479例、20代389例、30代262例、40代152例、50代160例、60代128例、70歳以上128例となっている。血清型・毒素型別にみると、O157 VT1・VT2 1,013例(34.8%)、O157 VT2 657例(22.5%)、O26 VT1 552例(18.9%)の順に多い。

溶血性尿毒症症候群(HUS)の第38週までの累積は37例である。年齢群別では10歳以下が29例(うち、5歳以下は24例)、10代2例、60代1例、70歳以上5例であった。性別では男性11例、女性26例と女性に多かった。それらの原因菌の血清型・毒素型別では、O157 VT2(16例)、O157 VT1・VT2(11例)、O26 VT1・VT2(2例)、O111 VT1・VT2(3例)、O146 VT1・VT2(1例)、その他4例であった。本年報告されている死亡例は4例(70代女性、2歳女性、3歳女性、80歳男性)であるが、原因菌の血清型・毒素型はそれぞれO157 VT1・VT2、O26 VT1・VT2、O111 VT1・VT2、O157 VT1・VT2であった。死亡例やHUSの合併については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、このような発生があった場合には「入力時のお願い」として、修正報告することをお願いしている。

例年報告は初秋にも多くみられるので、今後も一層の注意が必要である。また、本年においても、保育所などに関連した集団発生の報告が散見されている。保育所などでの人から人への感染を防ぐために、タオルの共用を避けることや、普段からの手洗い(特にオムツ交換時)、園児への排便後・食事前の手洗い指導を徹底することが重要である。さらに、簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。

図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別週別発生状況

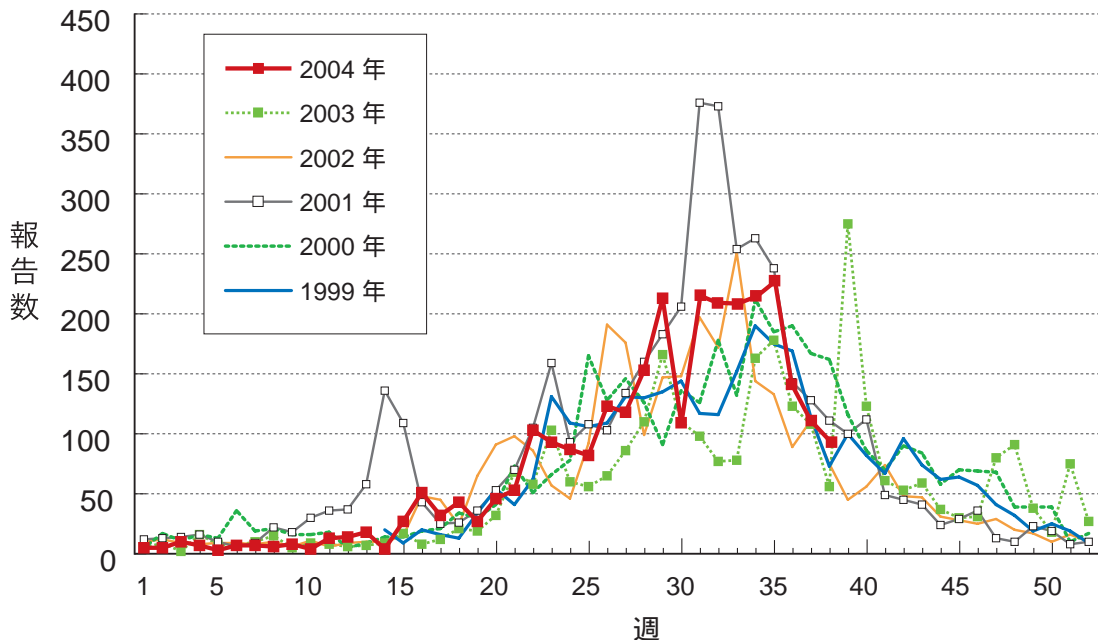


図2. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況 (2004年第38週のみ)

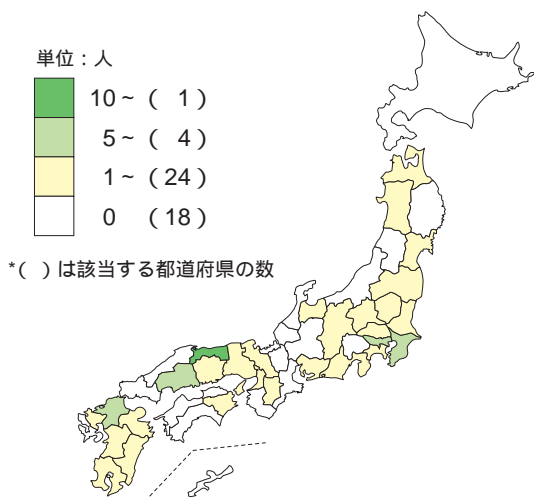
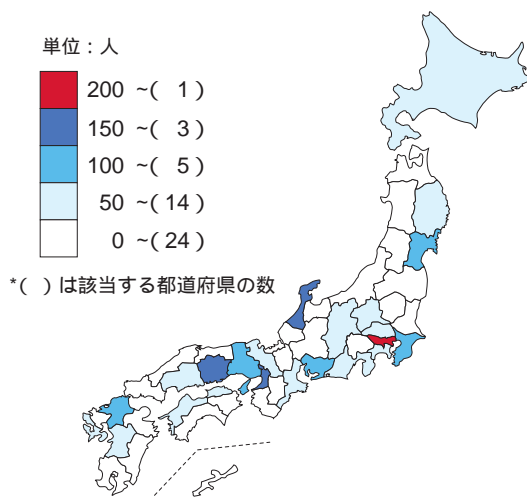


図3. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況 (2004年第1 ~ 38週の累積)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

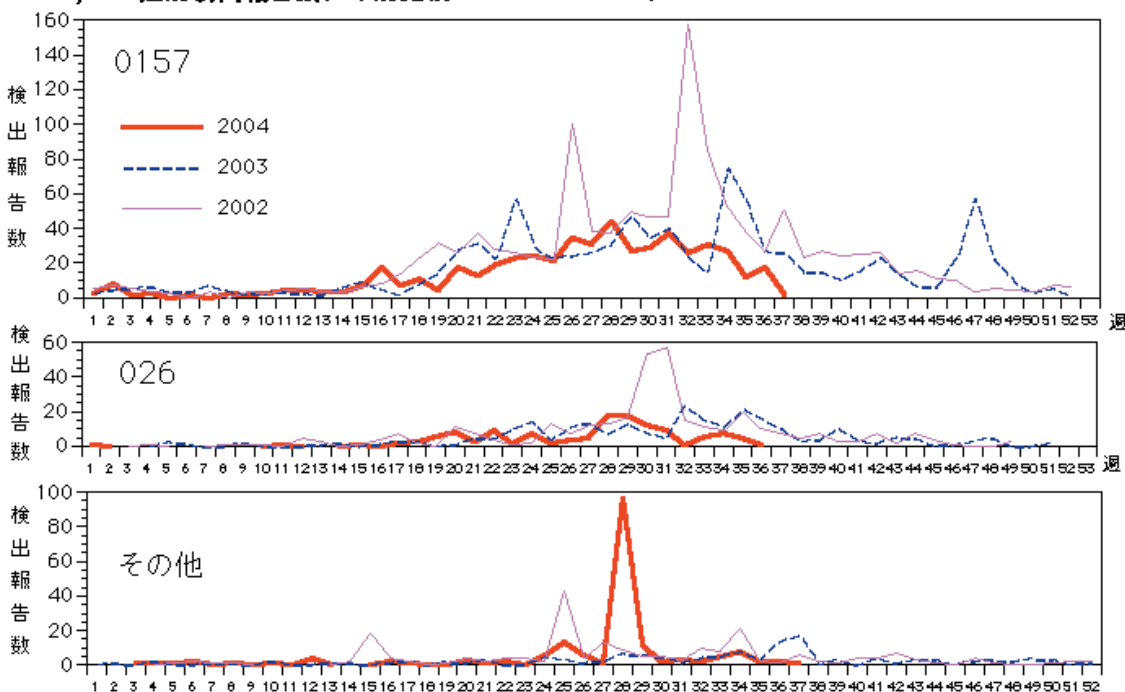
(2004年9月24日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年

現在までの検出総数は823件で、うちO157が512件、O26が131件、その他の血清型が180件報告されている。O157は第20週(5/10 ~)から増加し、第24週(6/7 ~)以降は昨年(2003年)とほぼ同程度の検出数で推移しており、これまでのところ第28週(7/5 ~ 7/11)の44件が最多報告数である。また、その他の血清型は第28 ~ 29週に急増している。これは、石川県の高校の修学旅行に関連した集団発生事例で検出されたO111(79件)が主である。

O157は第36週に福岡県5(VT1&2が3、VT2が2)、群馬県4(すべてVT1&2)、京都府3(すべてVT1&2)、岐阜県2(VT1&2が1、VT2が1)、大阪府2(すべてVT2)、長崎県1(VT2)、第37週に福岡県1(VT1&2)から、O26は第36週に静岡県1(VT1)から報告されており、いずれも散発、または家族内事例からの検出である。その他の血清型として、O111が第36週に群馬県から2件(すべてVT1&2、1件は保育所における集団発生事例)、O型別不能が第37週に福岡県から1件(VT2)報告されている。

O157, O26週別検出報告数、年別比較 2002~2004年 (病原微生物検出情報: 2004年9月24日現在報告数)



週

各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

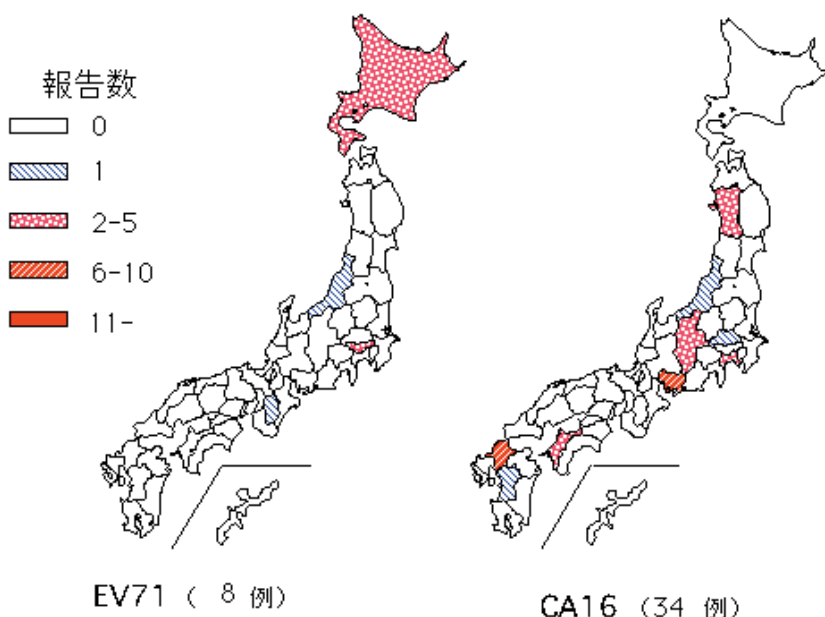


手足口病患者から検出されているウイルス 2004年

A群コクサッキーウイルス16型(CA16)がこれまでに9県から34件報告されている。愛知県9 (IDWR2004年第34号9ページ速報記事参照)、福岡県6、秋田県5 (IDWR2004年第16号13ページ速報記事参照)、神奈川県5 (IDWR2004年第37号9ページ速報記事参照)、長野県4の順に多い。エンテロウイルス71型(EV71)は4都道県から8件(北海道3、東京都3 (IDWR2004年第27号9ページ速報記事参照)、奈良県1、新潟県1)が報告されている。その他に、CA4が7件、CA6が1件、CA14が1件、B群コクサッキーウイルスが6件(5型3、1型2、2型1)、エコーウイルスが5件(6型2、18型2、27型1)報告されている。

都道府県別手足口病患者からのEV71&CA16分離報告状況, 2004年

(病原微生物検出情報: 2004年9月24日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2004年

今夏はA群コクサッキーウイルス(CA)4型の報告が主である。これまでに21都道府県から計189件が報告されている。愛知県30 (IDWR2004年第34号9ページ速報記事参照)、大阪府25 (IDWR2004年第31号11ページ速報記事参照)、宮城県19、奈良県17、福岡県17などからの報告が多い。次いでCA2が、秋田県16 (IDWR2004年第36号10ページ速報記事参照)、長野県4、島根県4など15都道県から45件報告されている。また、その他のCAが11件(6型8、9型1、10型1、16型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)が29件(4型12、1型10、5型5、3型2)、エコーウイルス(E)が5件(6型2、7型2、16型1)報告されている。



仙台市内および仙台市周辺における真夏のRSウイルス感染症の流行、2004年7～8月

2004年7～8月、仙台市内およびその周辺で、RSウイルス(RSV)感染症の流行と思われる現象をとらえたので報告する。

国立病院機構仙台医療センター・ウイルスセンターは、おもに呼吸器系感染症を対象に、年間を通して広く地域の医療機関から臨床材料を受け入れ、マイクロ・プレートにまいた多種類の培養細胞への検体接種(マイクロプレート法)によるウイルス分離を行い、その成績に基づくウイルス感染症の疫学調査研究を行っている。その過程で、本年7～8月に仙台市内の病院(小児科・耳鼻科)を受診した患者から、この季節としては異例なほど多数のRSVを分離した。この2カ月間に、0～16歳の357名の患児から採取した咽頭ぬぐい液、または鼻汁357検体をHEF、HEp-2、Vero、MDCK、LLC-MK2、HMV-II、B95aの7種すべての培養細胞に接種しているが、接種後HEp-2細胞のみに特徴的な合胞体を形成し、RSVの分離を疑わせる検体が、7月は下旬を中心に7例(7/202:3.4%)、8月は18例(18/155:11.6%)、合計25例にのぼった。これらの分離ウイルスは、RNAを抽出後、RSVに特異的なプライマー(A、Bサブタイプ共通のプライマー)を用いたRT-PCRによる確認試験を行ったところ、すべてRSVであった。さらにその後、サブグループA、Bを区別するプライマーを用いたPCRで、サブタイプまで決定した。

今回RSVが分離された患児の年齢は、0歳12例、1歳5例、2歳5例、3歳3例であった。なかには兄弟間での感染例も6例(3家族)あった。これらのうち臨床症状が報告されている18例の内訳は、下気道炎16例、急性中耳炎2例であった。また、25例中15例が入院加療を受けていた。サブグループはAが22例、Bが3例であったが、特にBグループがある地域に偏在しているという傾向はなかった。

過去5年間の我々による仙台市内でのRSVの月別分離数をみると、毎年、初冬～初春にかけて流行する傾向があるが、その他の月でも分離がないわけではなく、ほとんど通年分離されている。しかし、4～10月にかけて1カ月間に分離数が5例を超えたことはなく、本年7月の7例、8月の18例の分離は冬季に匹敵するものであった。今年の夏の分離依頼検体数が例年にくらべて多いこともなく、また、これらが仙台市内の異なる地域にある複数の医療機関の検体からの分離であったことから、この夏、仙台市内およびその周辺で、RSV感染症が広く小児に流行していたものと判断された。

なお、この間、仙台市における感染症発生動向調査による定点報告では、8月最終週に3件報告があるだけで、特にRSV感染症の流行は捉まえていない。今回の流行は、今後真夏でもこのようなRSV感染症の流行があることを知っておく必要があることを示した格好の事例であった。

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター・ウイルスセンター

岡本道子 近江 彰 千葉ふみ子 田中 泉 伊藤洋子 鈴木 陽

渡邊王志 西村秀一

東北厚生年金病院小児科

貴田岡節子

東北労災病院小児科 高柳玲子 石澤志信

耳鼻咽喉科 矢野寿一

永井小児科医院

永井幸夫

庄司内科医院

庄司 眞

(IASR2004年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

Neurology誌(2004年)に掲載されたHernánらによる最近の研究、“組換えB型肝炎ワクチンと多発性硬化症の罹患リスク”に関するWHOのQ&A(抄訳) - 2004年9月

原文: WHO. Global Advisory Committee on Vaccine Safety.

http://www.who.int/vaccine_safety/topics/hepatitisb/multiple_sclerosis/qa_sep04/en/

B型肝炎ワクチンと多発性硬化症の関係についての問題が、なぜまた議論されているのか？

B型肝炎ワクチンと多発性硬化症が関係する可能性についての新しい研究結果が発表されたためである(Hernánら、Neurology誌、2004年)。この問題は10年前にも議論されている。

その新しい研究とはどんなものか？

この後ろ向き研究は、英国のGeneral Practice Research Database(GPRD)という医療記録のデータベースを用いたもので、成人の多発性硬化症患者の群と健常人からなる対照群の2つのグループについて、過去のB型肝炎ワクチン接種歴について比べたものである(中略)。著者らは、GPRDに登録されている多発性硬化症患者のなかで、多発性硬化症の最初の症状が出たと推定される日からさかのぼって、3年以上の記録の分かる者163人を選び、その医療記録の情報を調べた。その結果、ほとんどの患者(163人中152人:93.3%)はB型肝炎ワクチンを受けてはいなかった。しかしながら、そのうちB型肝炎ワクチンを受けていた少数の患者の割合(163人中11人:6.7%)は、対照群として選ばれた集団のなかでB型肝炎ワクチンを受けていた人の割合(1,604人中39人:2.4%)の3倍であった。もしも、このことが一般の人々にも当てはまるのであるならば、B型肝炎ワクチンは多発性硬化症の発生に関与することを意味する。

Hernánらによるこの研究は、これまで行なわれた研究とどう違うか？

これまで行なわれたすべての研究は、それぞれ異なった結果を導きうるような特徴をもっている。このたびのHernánらによる研究は、個々の患者の医療記録にある一般医による記載にもとづいているが、これに対してこれまでの研究は、B型肝炎に対する予防接種歴と多発性硬化症の発病の日を患者から直接得ている。このためHernánらによる研究では、医師の記録のなかに予防接種歴が書かれていない場合には、研究結果はゆがめられることになる。Hernánらによる研究の他の問題点は、英国においてB型肝炎に対する予防接種は特定のリスクグループ(医療従事者、流行地域への旅行者、肝臓・腎臓の機能に問題を持つ患者など)に行われており、他の研究が対象とした集団とは異なっていることである。著者らはデータベースの中から、医療記録が不十分または明確ではない、かなりの数の多発性硬化症患者を除外したために、結果的に非常に少ない数の患者しか研究対象にできなかった(うち、B型肝炎に対する予防接種を受けていたのは11人のみ)。Hernánらによる研究で、対象患者のうちのごく一部の患者の予防接種記録や日付、そして多発性硬化症の発症日がもしも間違っていたならば、その結果は他の研究結果のように、B型肝炎に対する予防接種と多発性硬化症は関係ないと結論付けていたかもしれ

ない。他に、Hernánらによる研究が他の研究と異なっている点は、フランスの医薬品安全サーベイランスデータから示唆されているリスク期間をこえた観察期間(3年間)を設定していることである。

Hernánらによるこの研究は、何らかの素因のある人々において、B型肝炎に対する予防接種が多発性硬化症の発症を増加させることを示すものか？

示してはいない。Hernánらによるこの研究では、まず第一に多発性硬化症の発症時の平均年齢は、予防接種を受けた群と受けなかった群で似かよっていた。第二に、接種群の中で予防接種後12か月以内に多発性硬化症を発症した患者の割合は対照群と似かよっていた。この2群で明らかに異なっていたのは、接種後12～36か月の期間に関することだけである。結局この研究は、「B型肝炎に対する予防接種後1年間は、多発性硬化症の発生頻度の増加はない」と結論付けているこれまでの研究と同様の結果なのである。

この研究は、B型肝炎に対する予防接種が多発性硬化症の発症をおこしうことを示しているか？

Hernánらによるこの研究には、その結果を一般の人々に当てはめることができないようにいくつかの問題点がある。この研究は、B型肝炎感染のリスクがあるために予防接種を受けた、非常に少数の患者の分析にもとづいている。この研究結果は、「B型肝炎に対する予防接種と多発性硬化症に関係はない」と結論付けてきたこれまでの数多くの研究結果、および専門家のレビューと異なっている。これらの他の研究の中には方法論に問題点があるものもあるが、Hernánらによる研究は、これらの否定的な結果を示した研究も考慮して検討される必要がある。

(中略)

この研究と他の研究の結果の違いは、方法論の違いからきた可能性はあるか？

この予期しない研究結果がその方法論によるものかどうかを調べるために、米国CDCは同じ方法論を米国の大規模なデータベースにあてはめ、医療記録にある情報を用いる方法、そして患者から直接得た情報を用いる方法で検討した(De Stefano F, 20th International Conference on Pharmacoepidemiology, Bordeaux, August 2004)。その結果、医療記録は患者情報のうち一部のみを記録しており、とくに予防接種歴についてその傾向があることが分かった。この米国の研究では、276の患者の記録とそれにマッチさせた599の対照群の記録を分析したが、接種後5年間のあいだのどの時点においても、B型肝炎に対する予防接種と多発性硬化症の関係はないと結論付けている。この結果は、Hernánらによる研究では、リスクを持つ者への接種、医療データが不完全である可能性、患者数が少ないことなどの交絡因子が関与している疑いがあることを示している。

(中略)

もしもこの研究結果が一般の人々に当てはまりうると仮定した場合、B型肝炎に対する予防接種を受けた者が多発性硬化症を発症する危険性は、最大限でどれくらいか？

そう仮定した場合、成人においてB型肝炎に対する予防接種を受けた後の3年間に多発性硬化症を発症するリスクは3.1倍、これはすなわち、10万人あたり1人から10万人あたり3人への増加になる。しかし、この研究の持つ問題点とこれまでの世界中の研究結果から考えると、このようにはならないであろう。

この研究結果は、B型肝炎に対する予防接種についての勧告を変更させることになるか？

この研究論文の著者も雑誌の論説員のいずれもが、B型肝炎に対する予防接種の重要性を否定してはいない。この研究結果は、まだ暫定的な段階で1年以上も前に発表されていた。保健分野の決定機関のすべてがこの件についての決定を下すにはまだ早い、今のところ、B型肝炎に対する予防接種についての勧告を変更したところはない。

B型肝炎がおこす保健問題の現実は、まだ証明されてもいない仮定のリスクよりずっと大きいということだ。Hernánらによるこの研究結果をみるに至った要因が何であろうとも、その研究はB型肝炎感染のリスクをもつ成人のみに関係するものである。

新生児、乳児、そして思春期の児童に対するB型肝炎予防接種の安全性の証拠は、過去20年の間に蓄積されている。

(国立感染症研究所感染症情報センター 田中政宏)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

チャドでのE型肝炎流行

WHO/CSR 2004年9月27日

2004年6月26日から9月17日の間に、Goz Amer難民キャンプ、Djabal難民キャンプおよび近隣の複数の村から、E型肝炎が疑われる患者1,442名と死亡者46名(致死率3.2%)が報告された。全体的な週当たりの報告患者数は、難民キャンプでは徐々に減少しているが、Goz Amerキャンプ周辺の近隣の村では減少していない。

チャド東部で活動しているGlobal Task Force on Cholera Control(世界コレラ制圧タスクフォース)からのチームは、キャンプ内の全給水地点の系統的な塩素消毒、石鹼配布の増量、住民の社会動員および保健教育活動を含む、飲料水および衛生勧告の実施を経過観察して行く予定である。

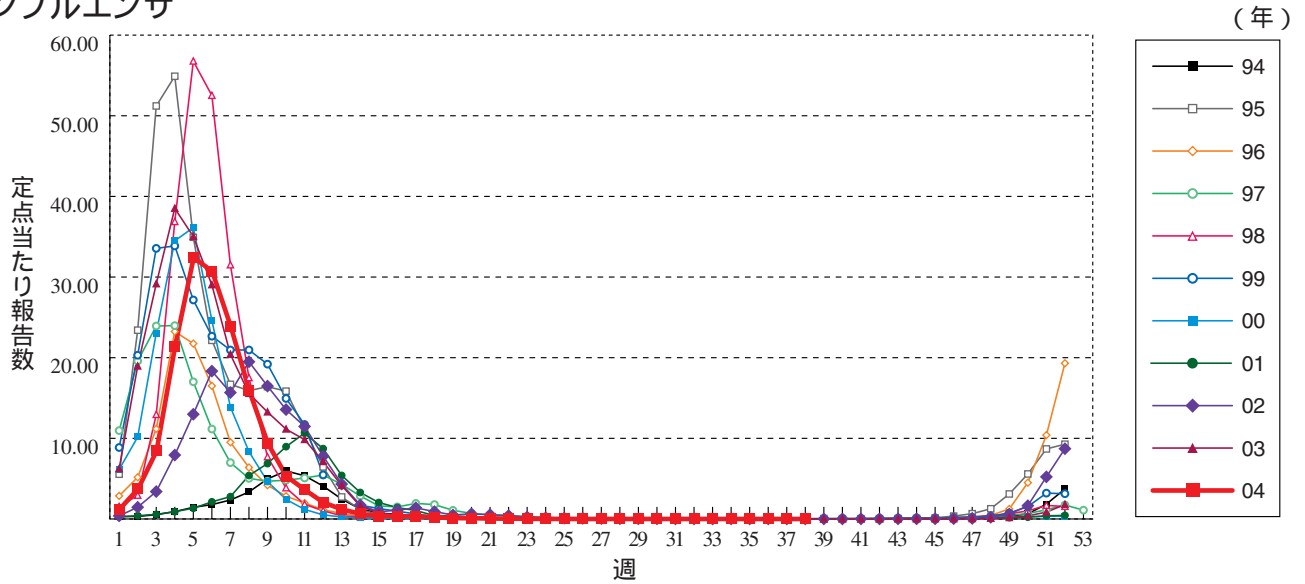


感染症の話

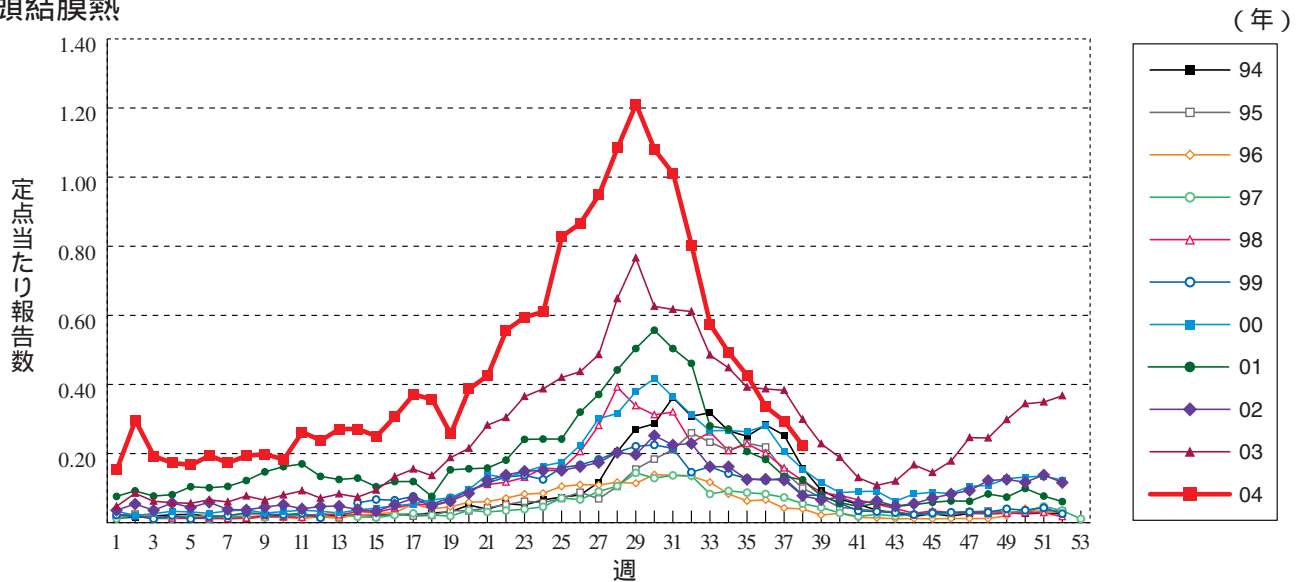
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(38週)

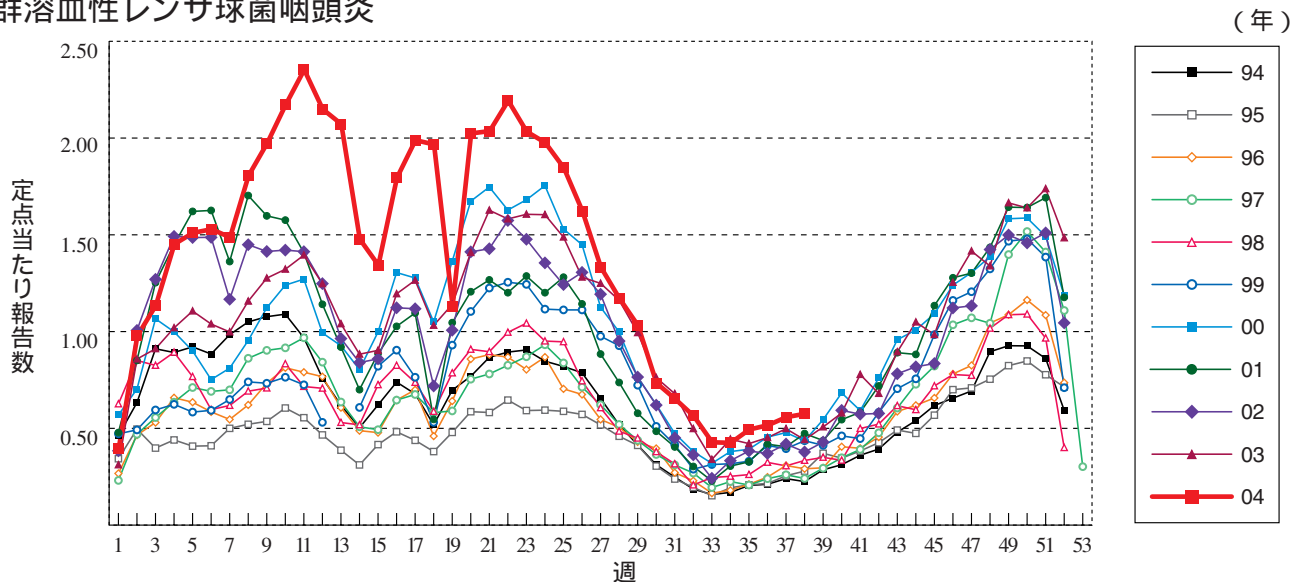
インフルエンザ



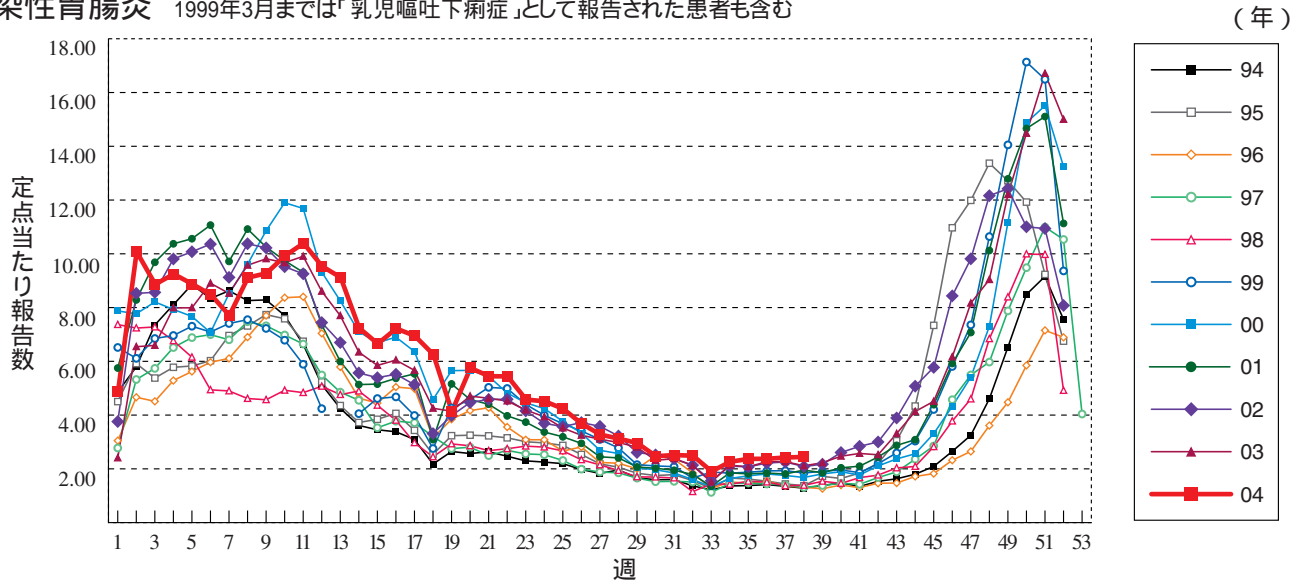
咽頭結膜熱



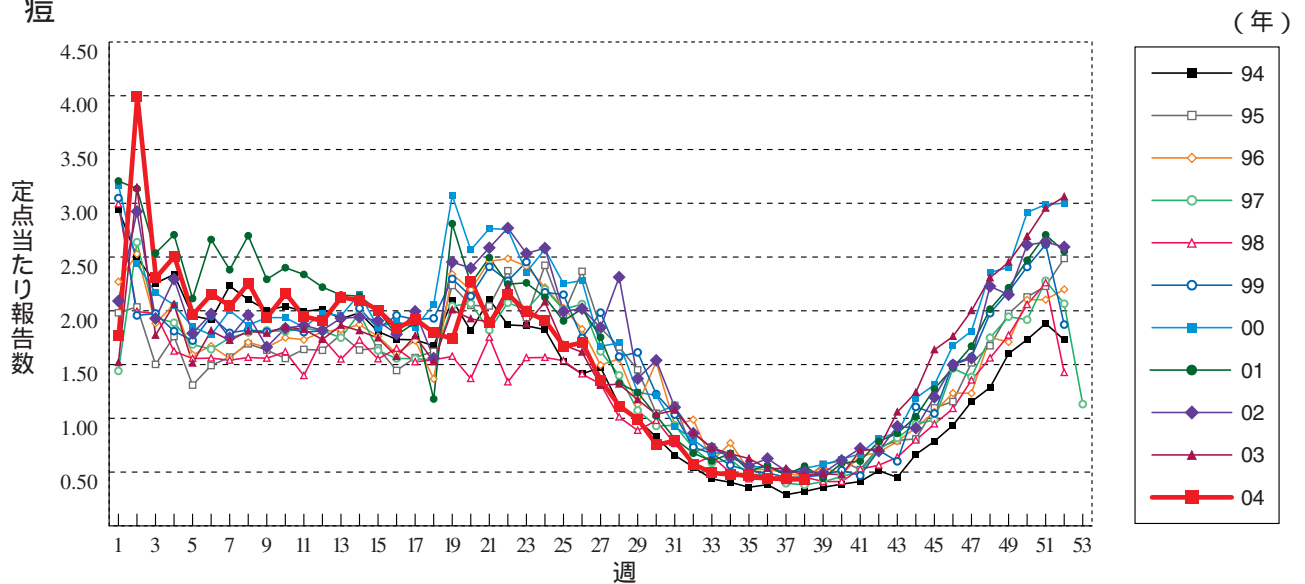
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



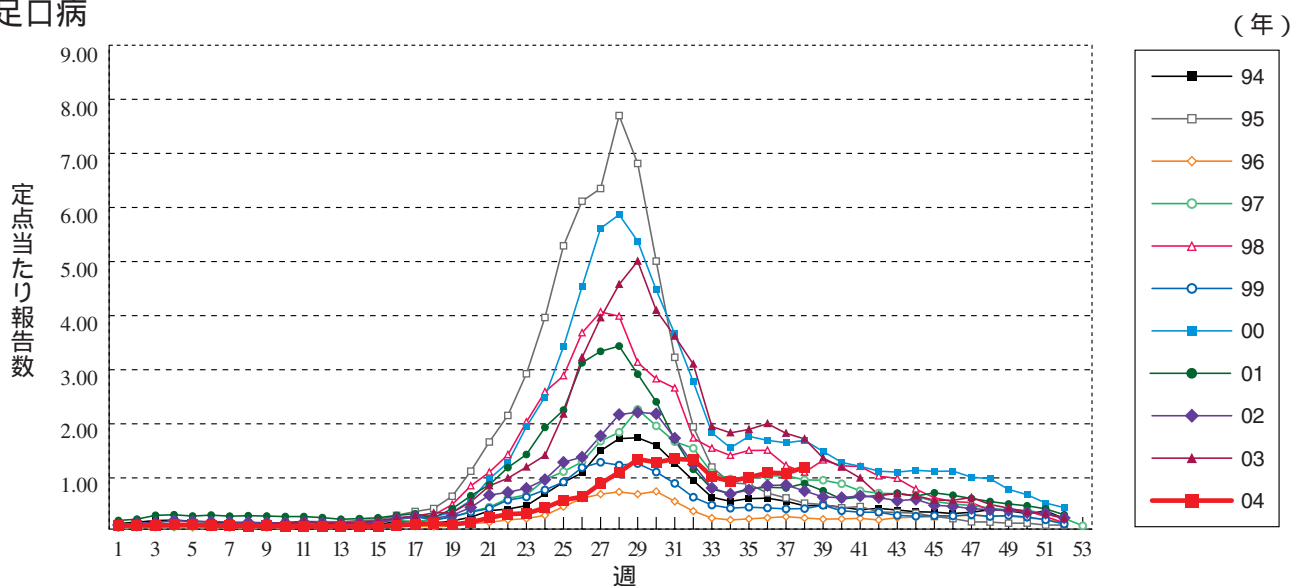
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



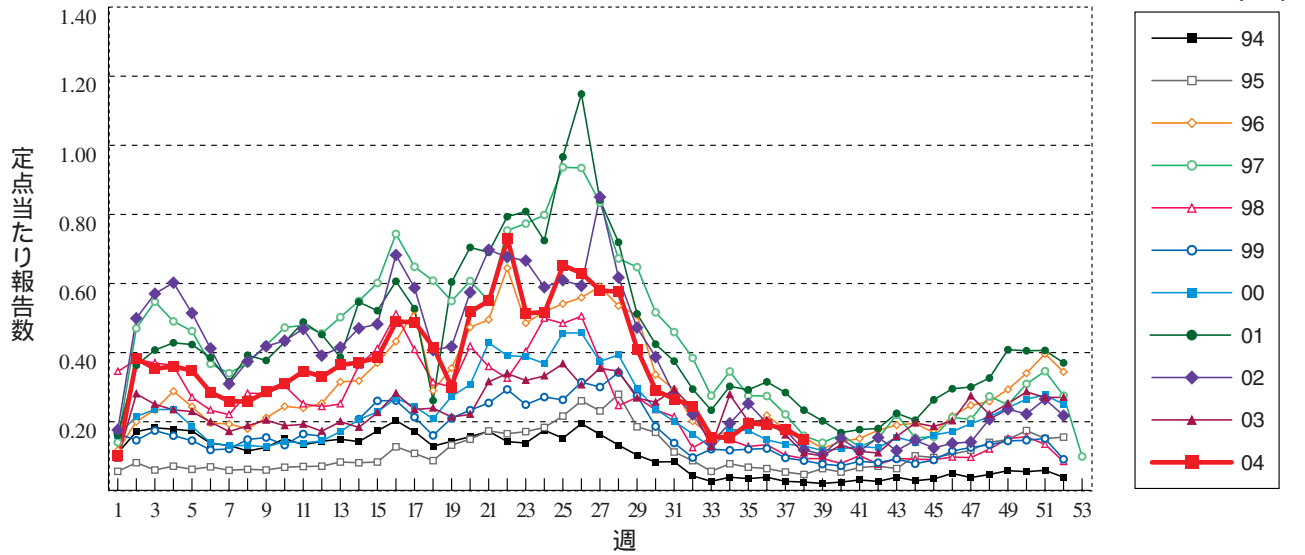
水痘



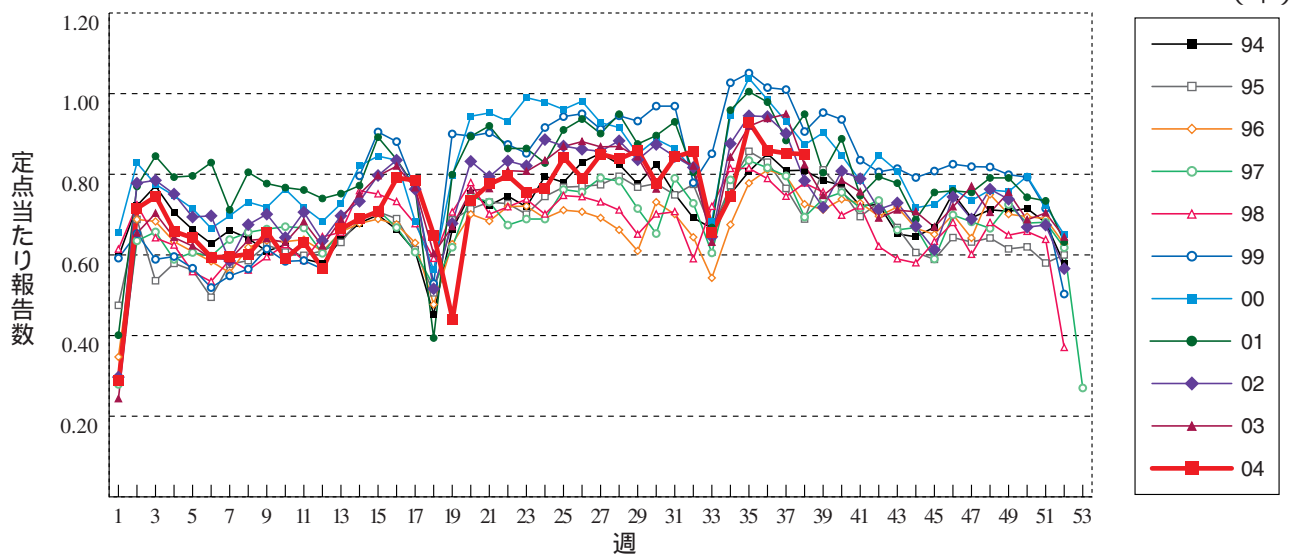
手足口病



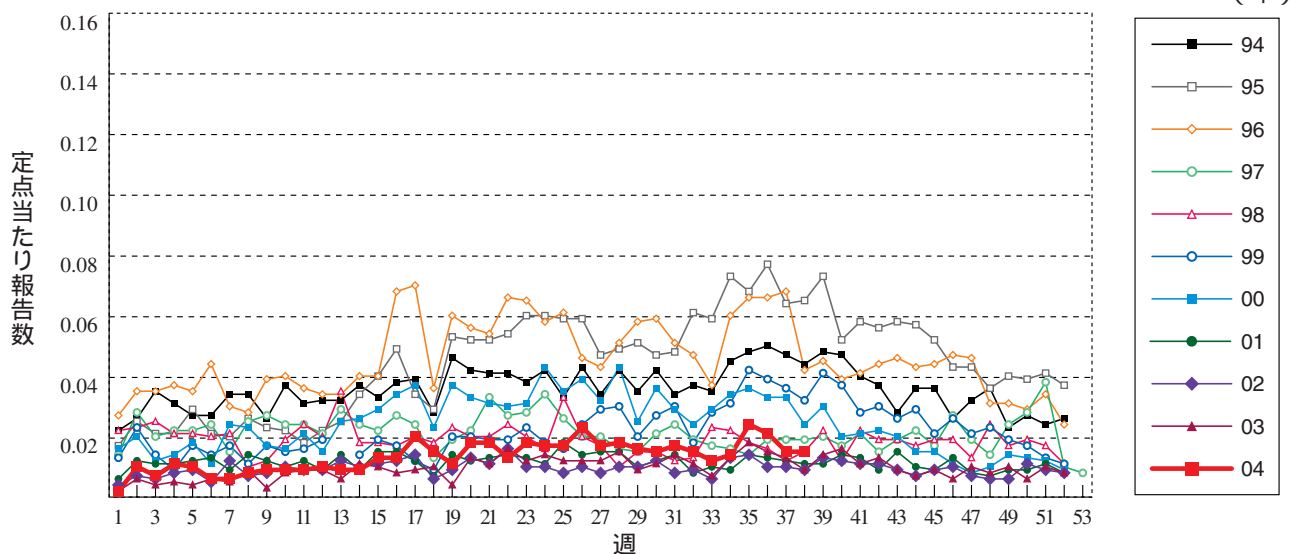
伝染性紅斑



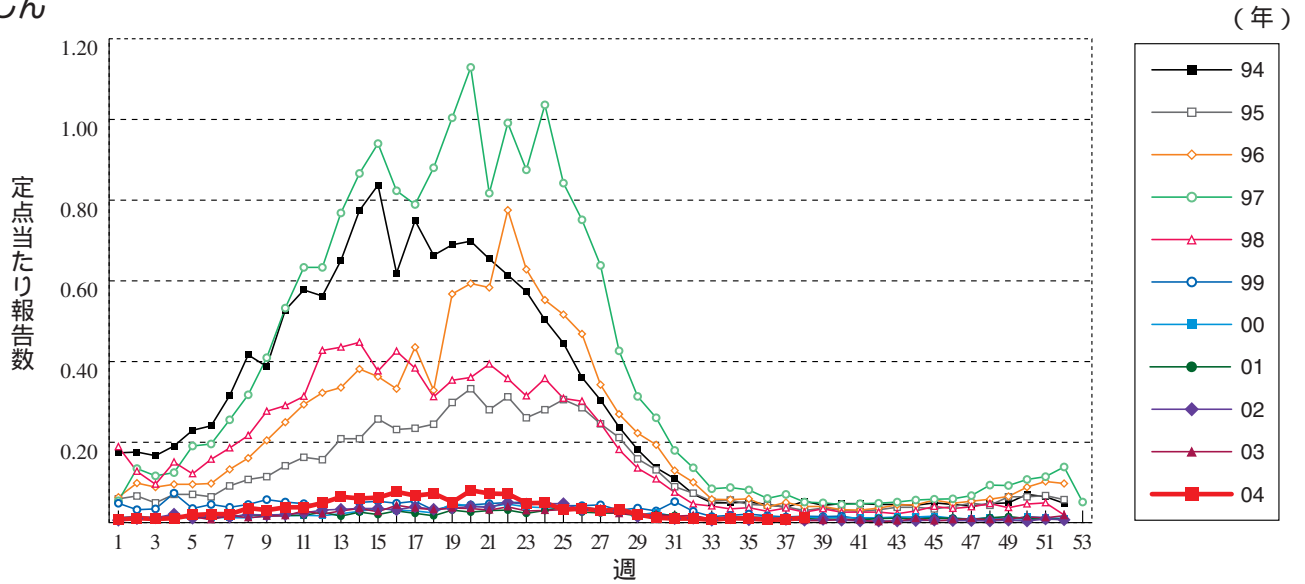
突発性発しん



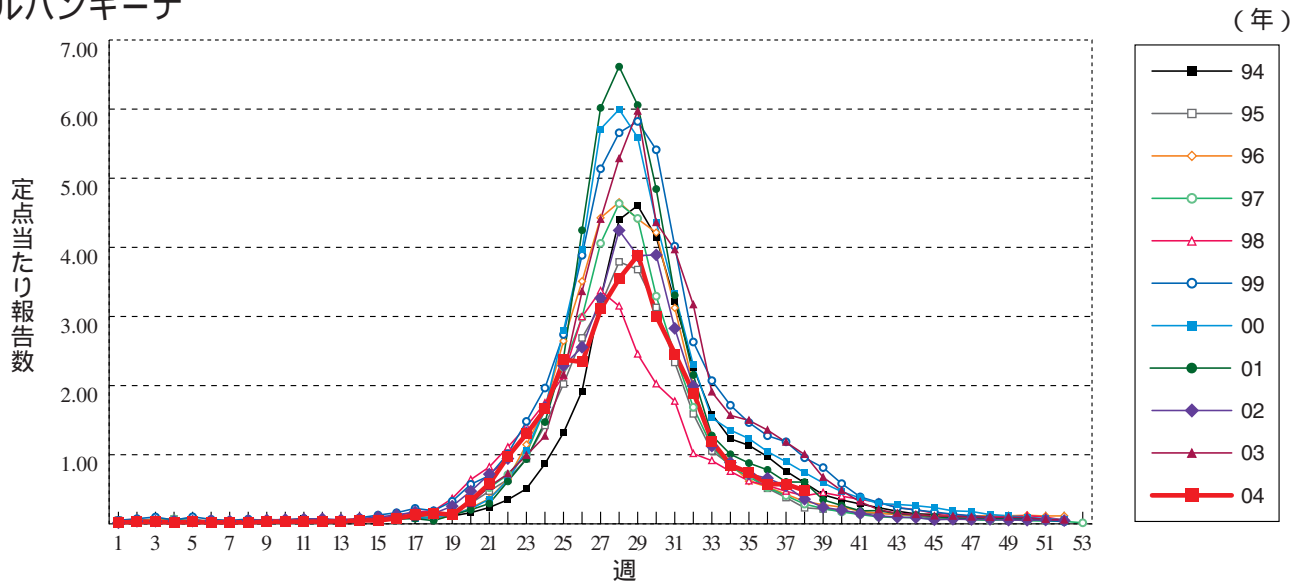
百日咳



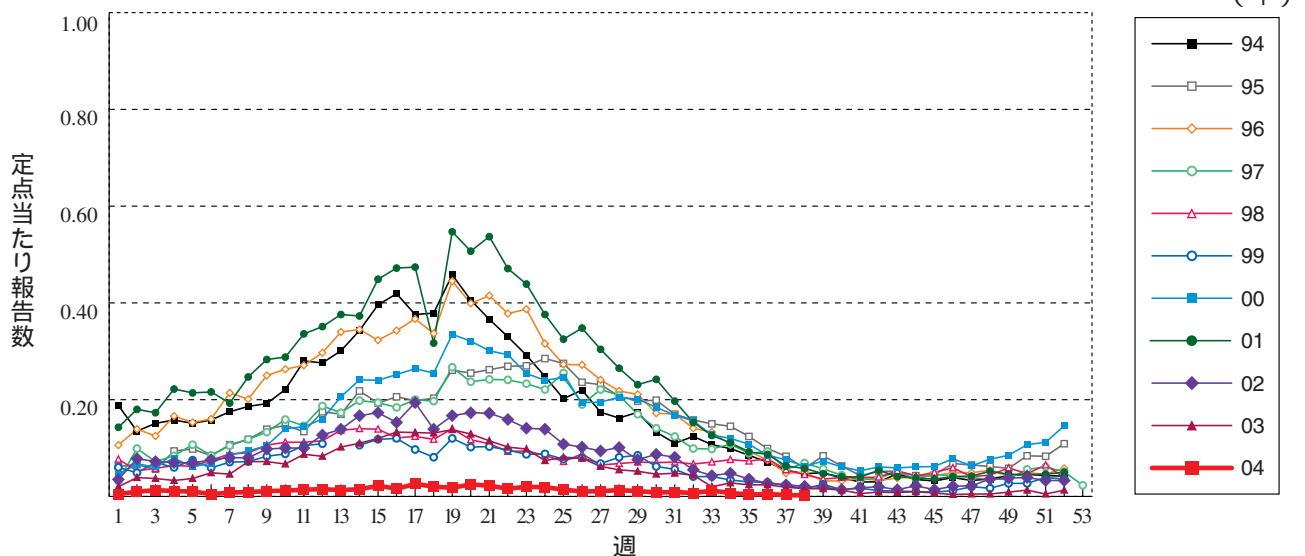
風しん



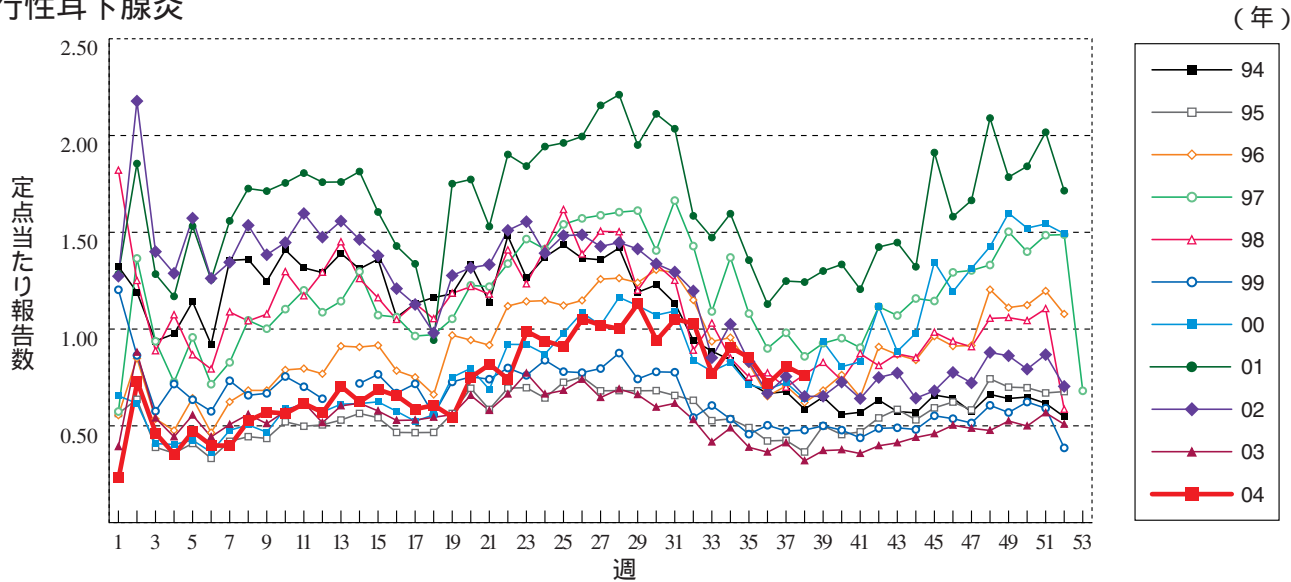
ヘルパンギーナ



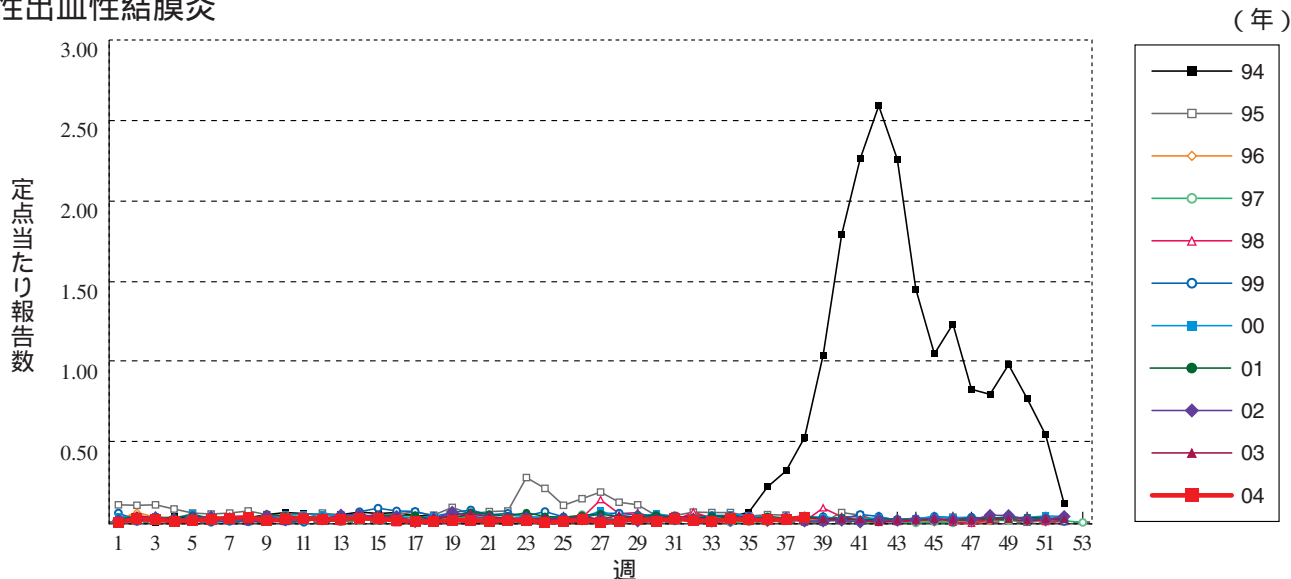
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



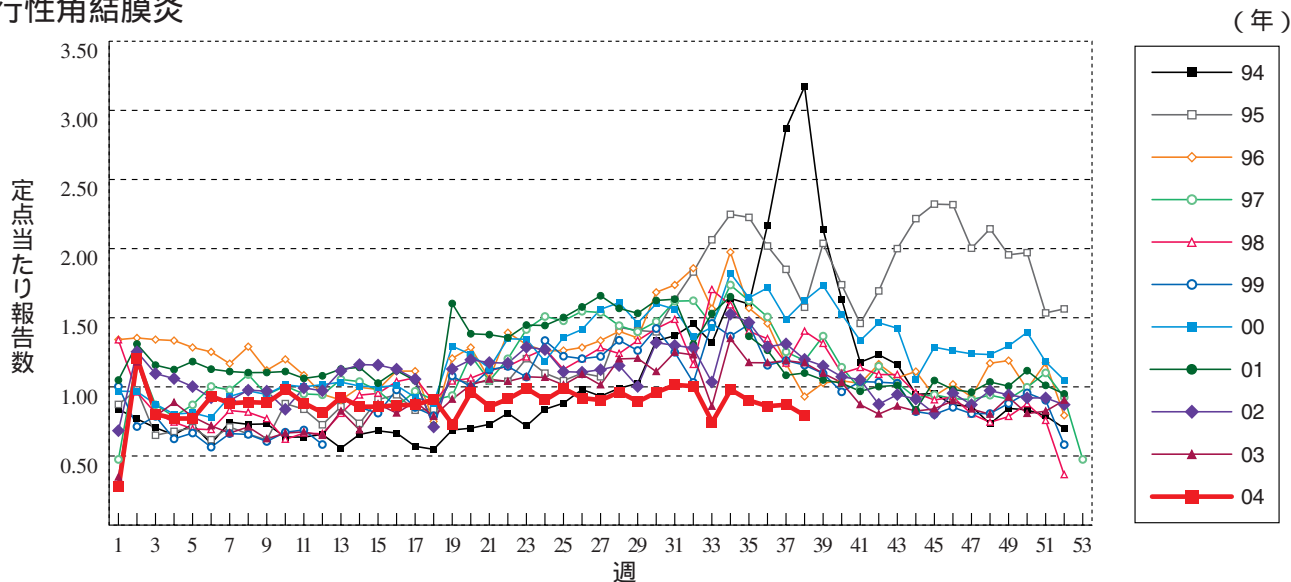
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

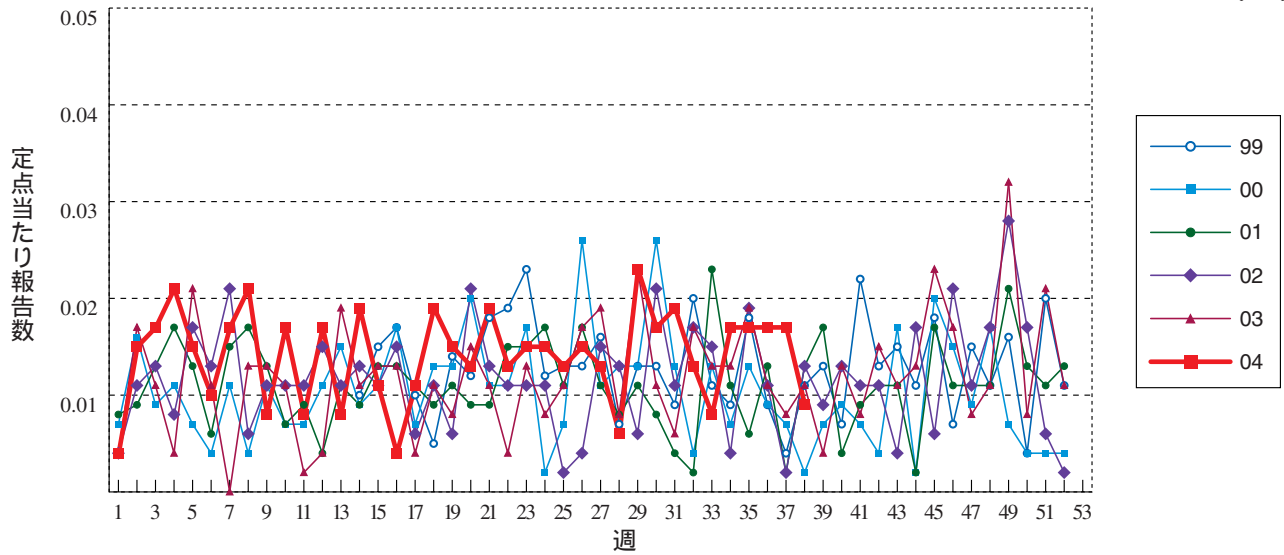


流行性角結膜炎



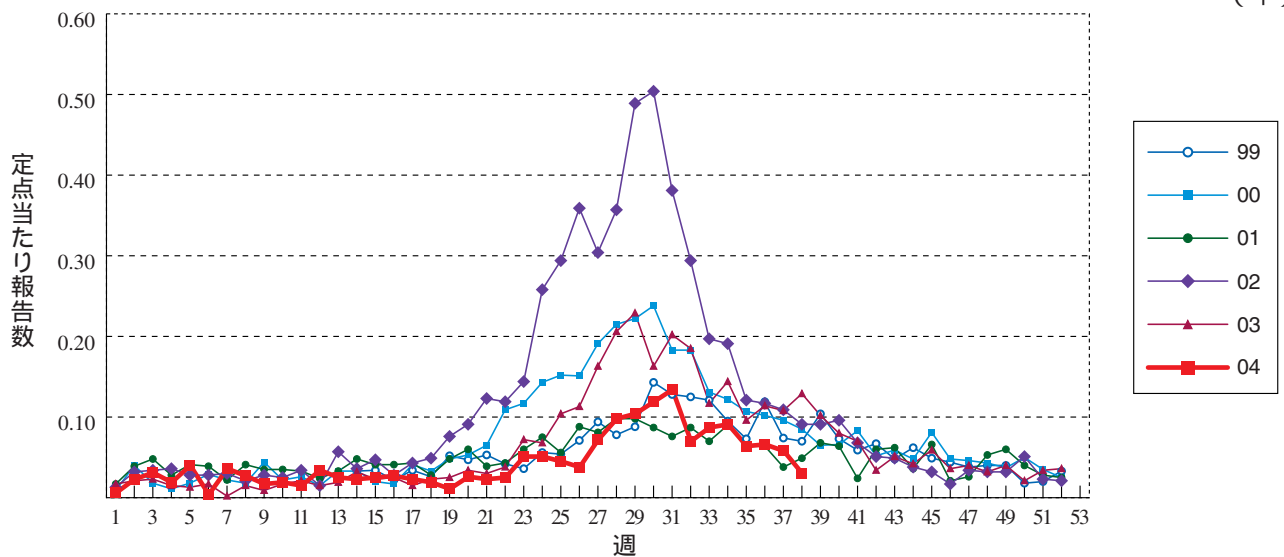
細菌性髄膜炎

(年)



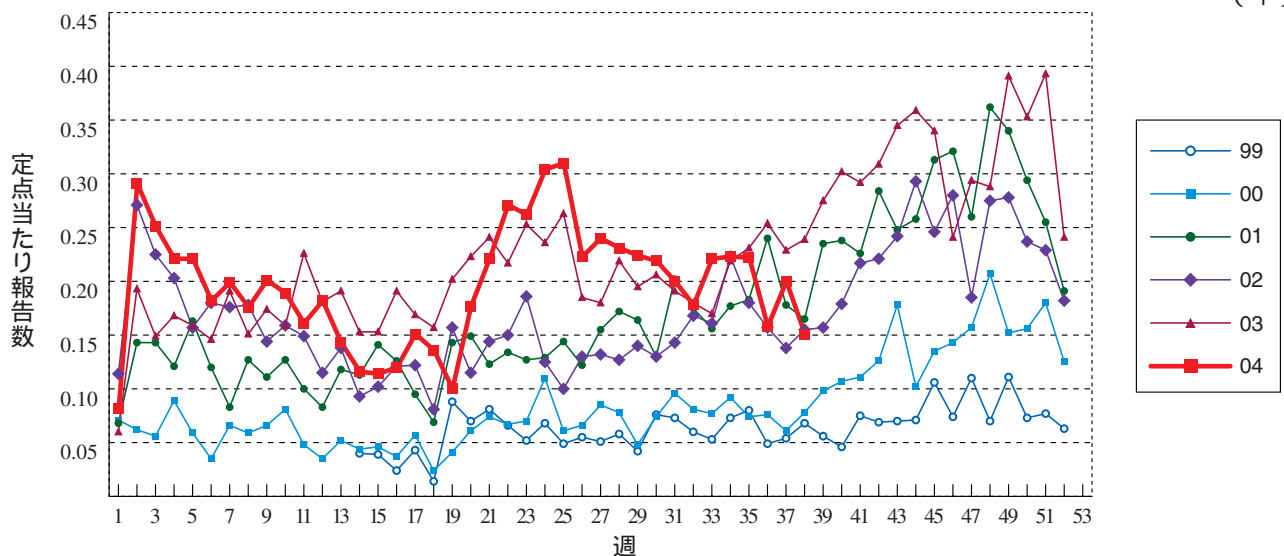
無菌性髄膜炎

(年)



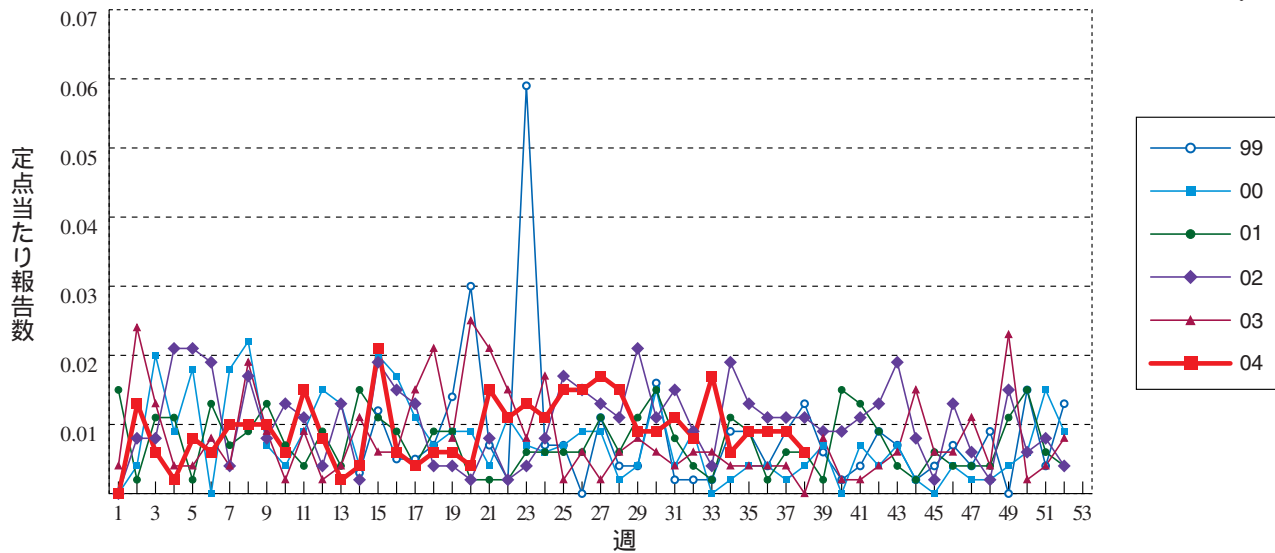
マイコプラズマ肺炎

(年)



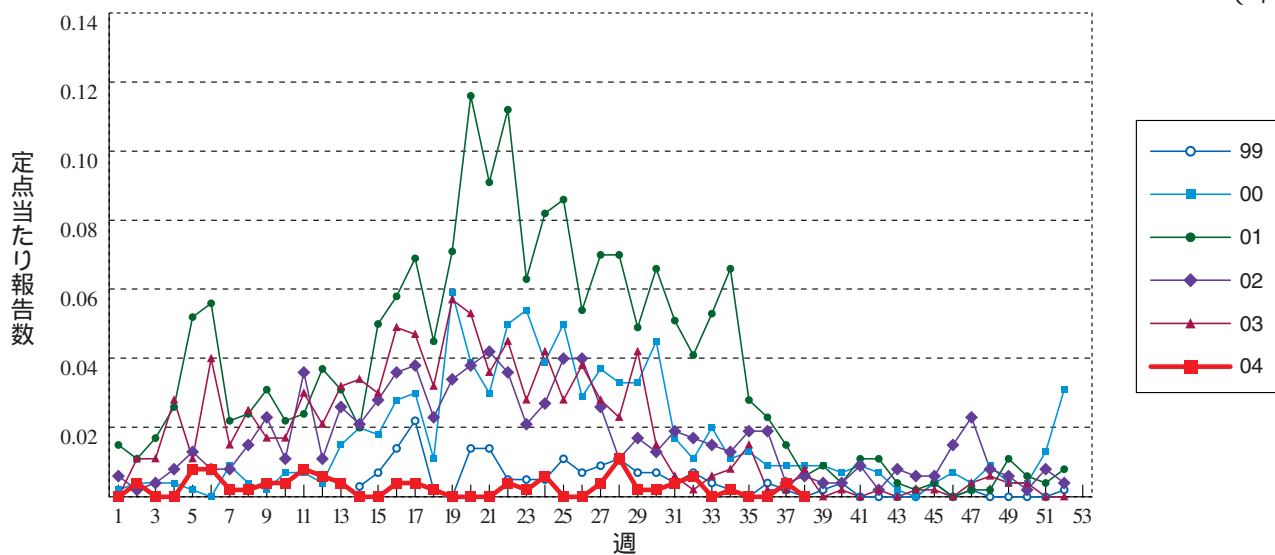
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

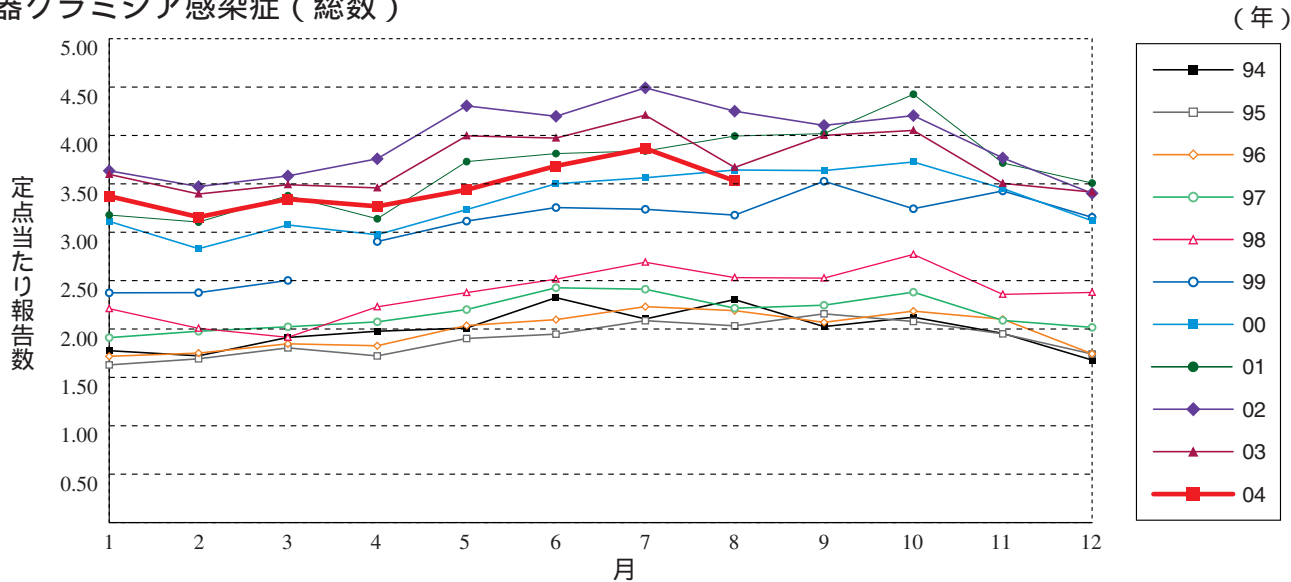




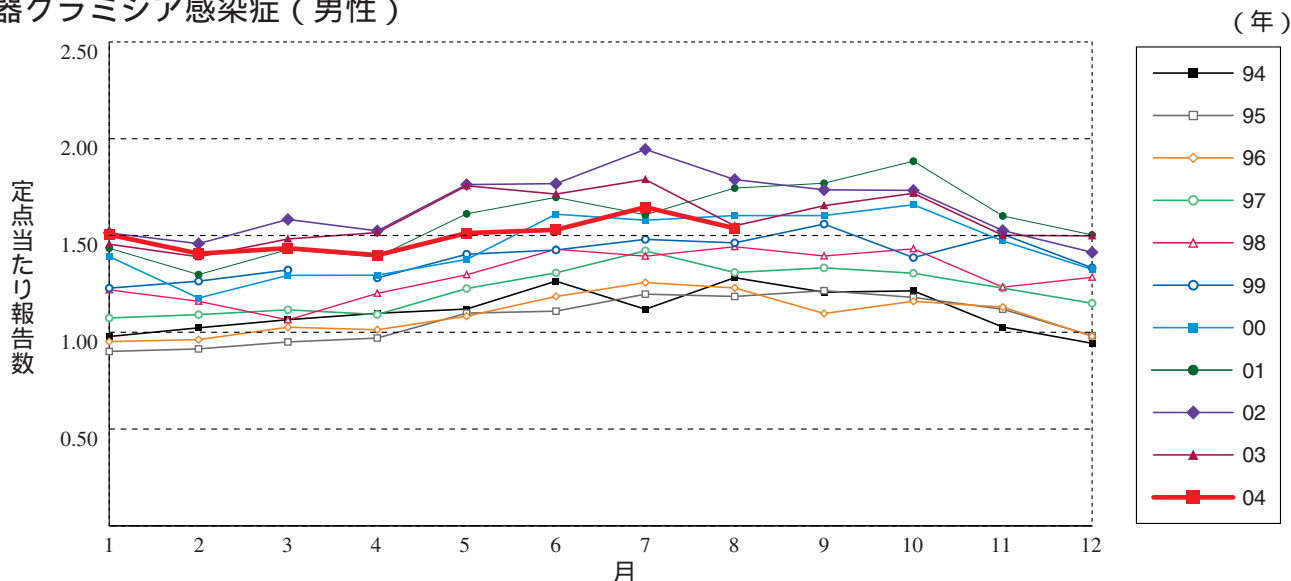
グラフ総覧(8月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

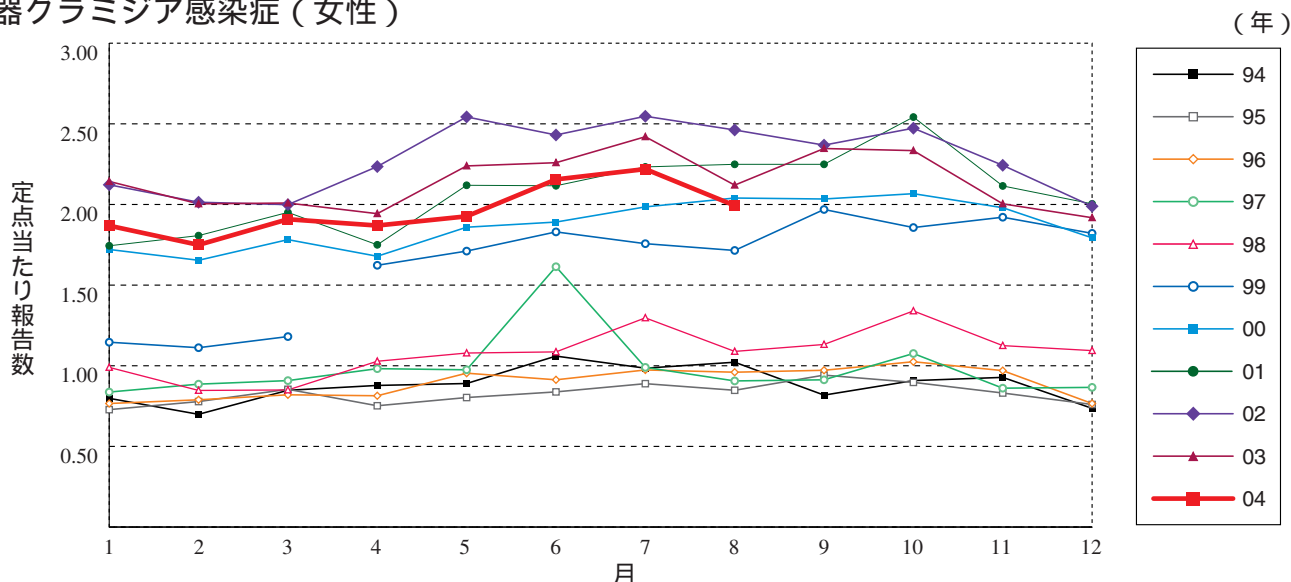
性器クラミジア感染症 (総数)



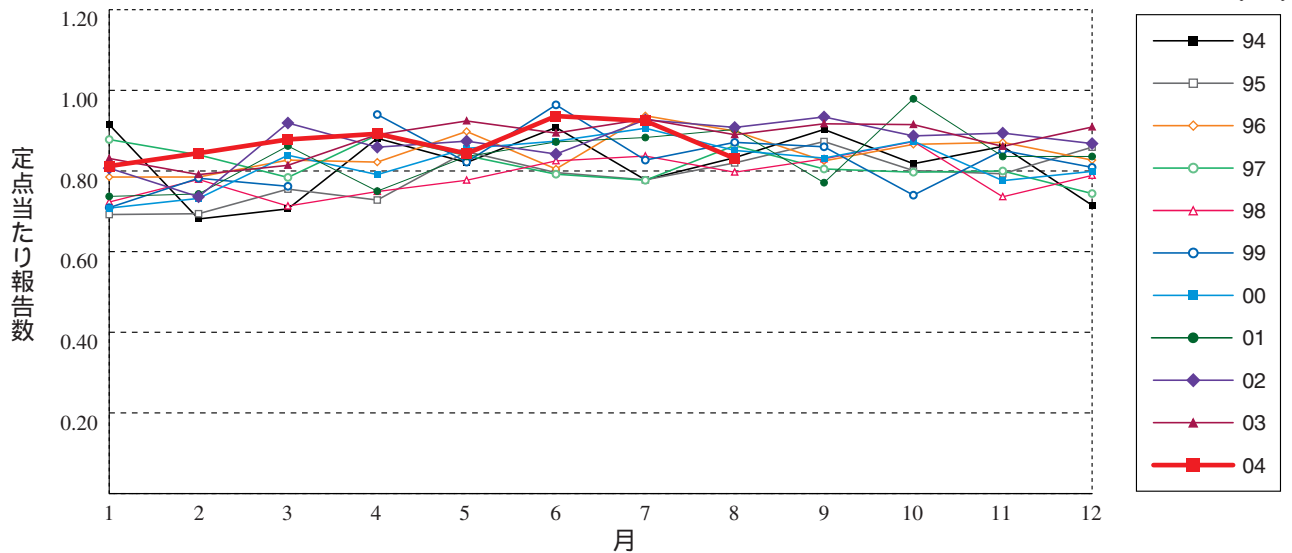
性器クラミジア感染症 (男性)



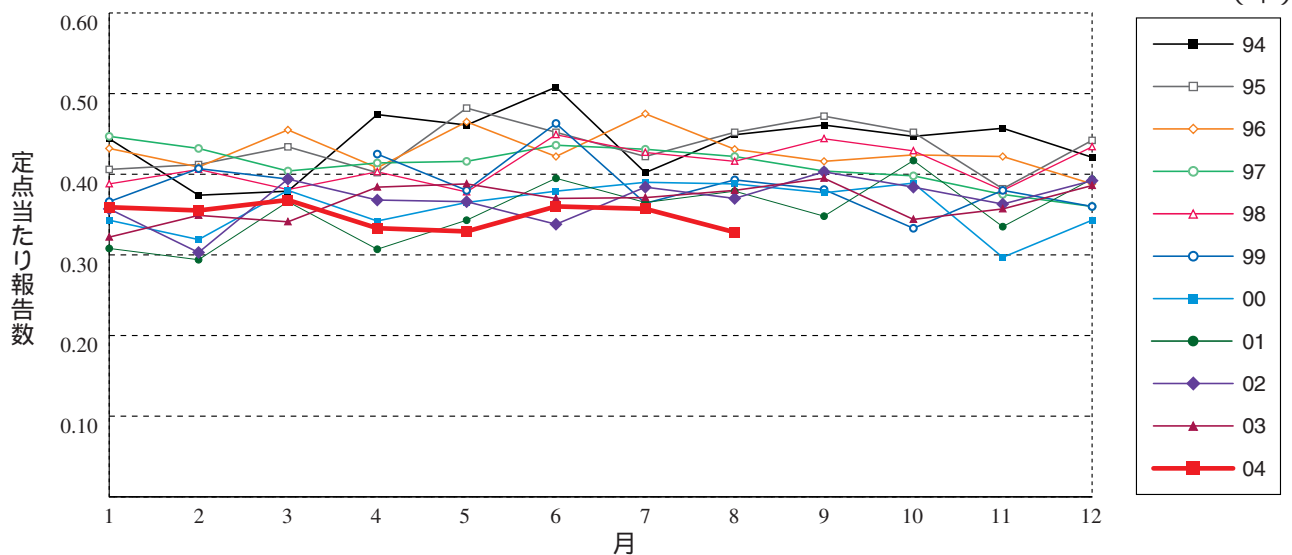
性器クラミジア感染症 (女性)



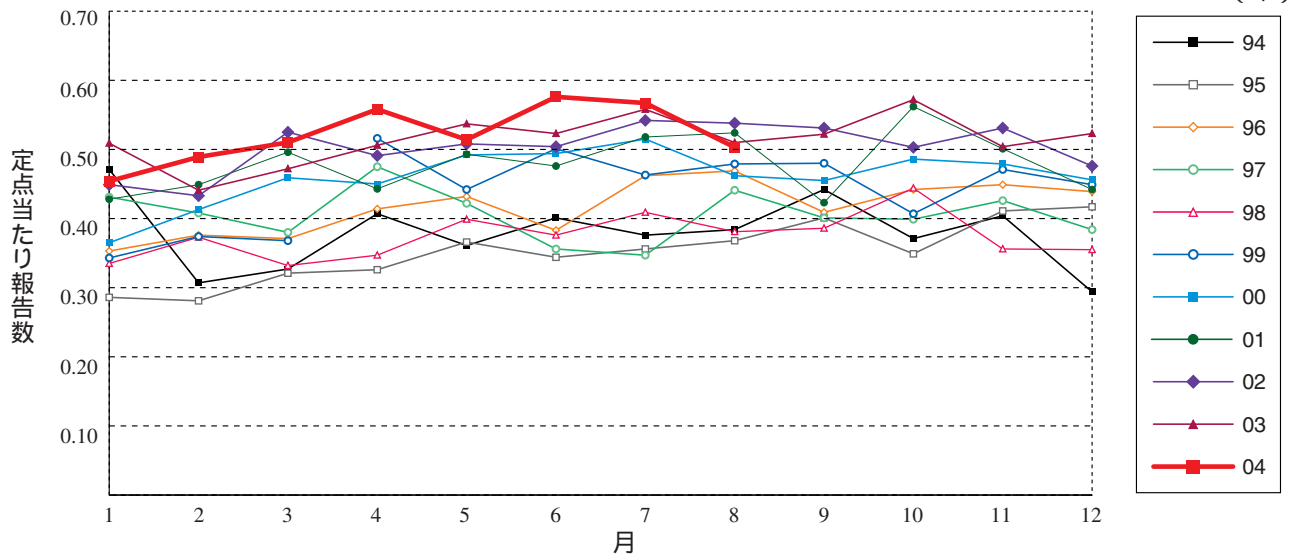
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



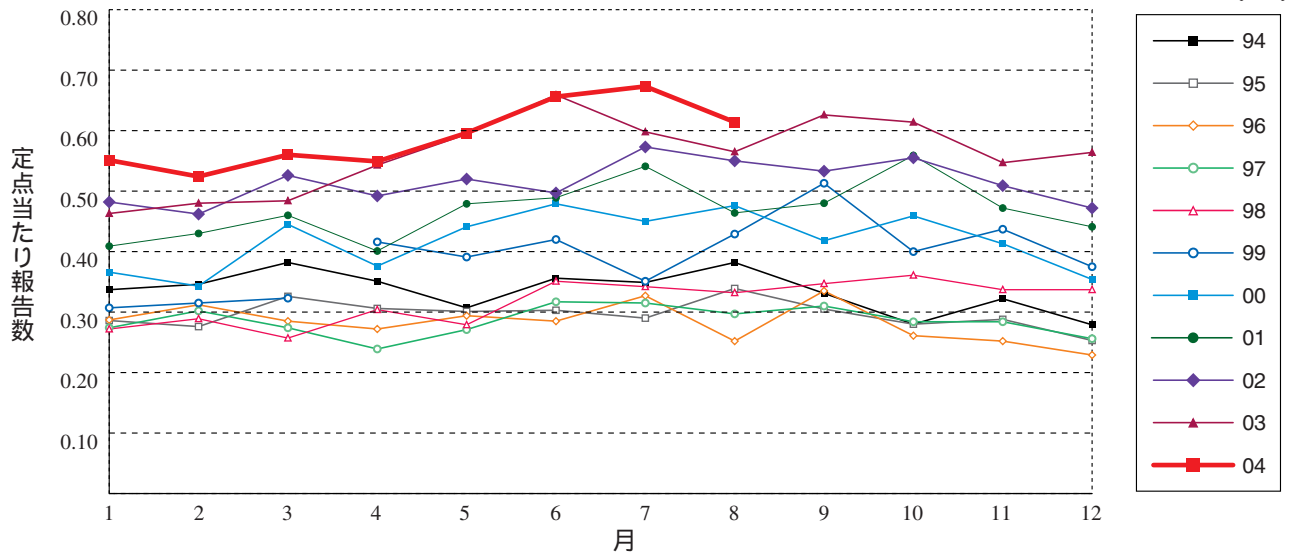
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



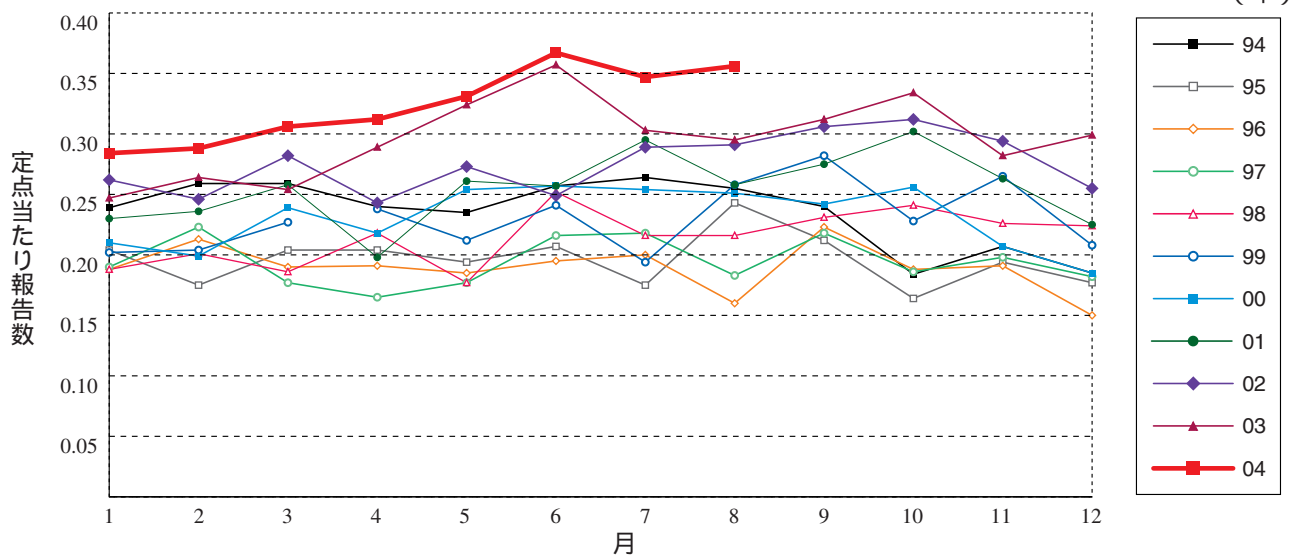
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



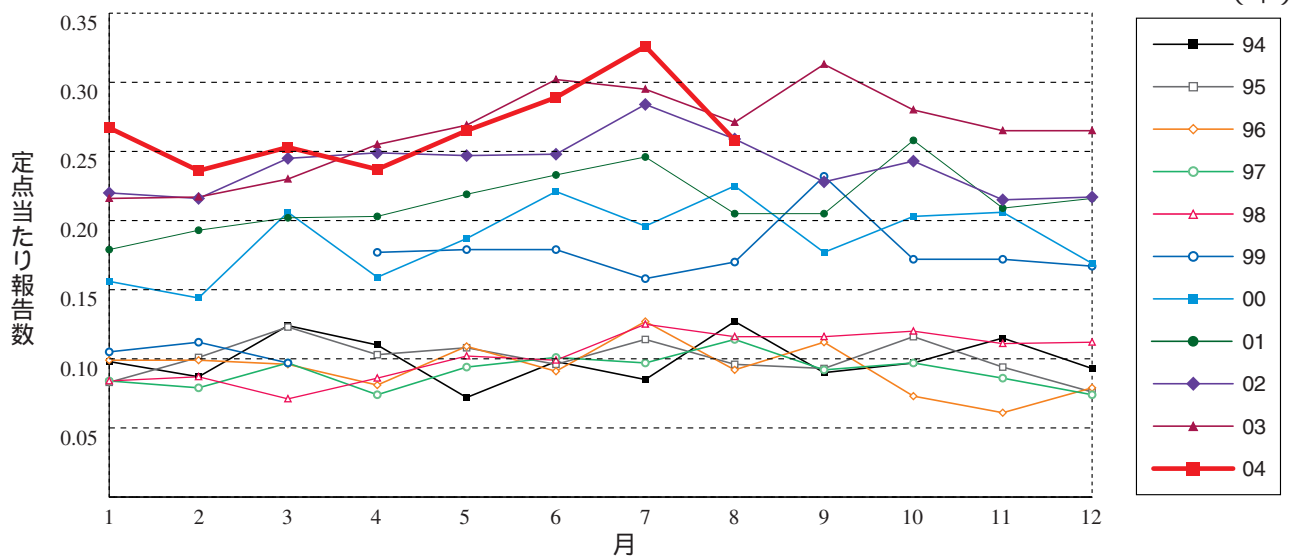
尖圭コンジローマ（総数）



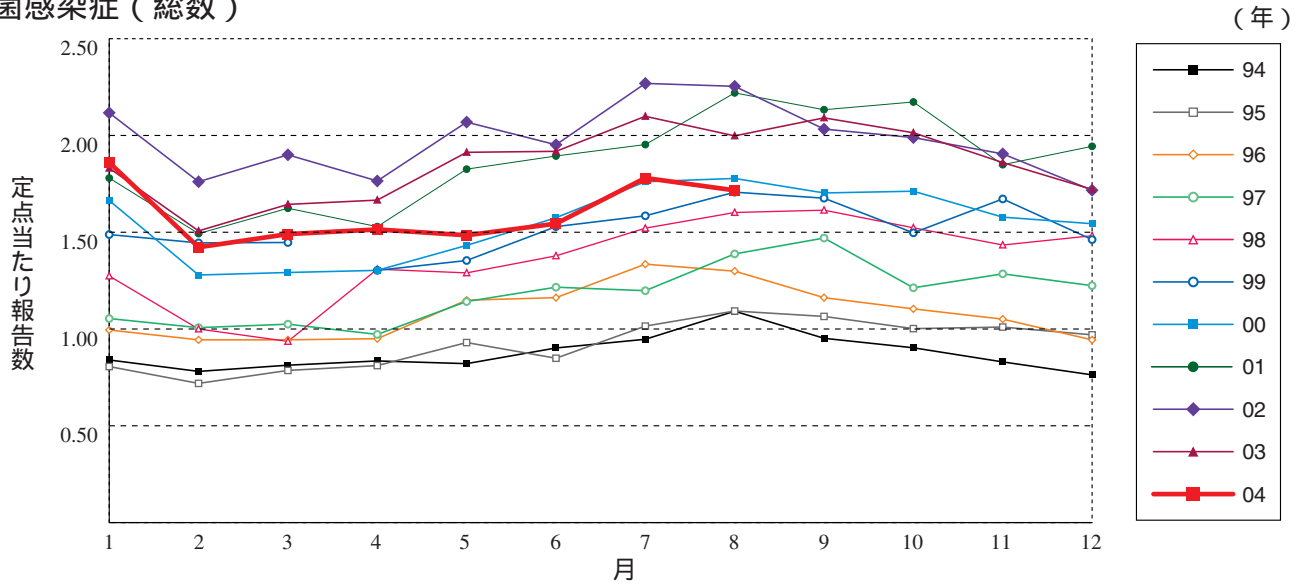
尖圭コンジローマ（男性）



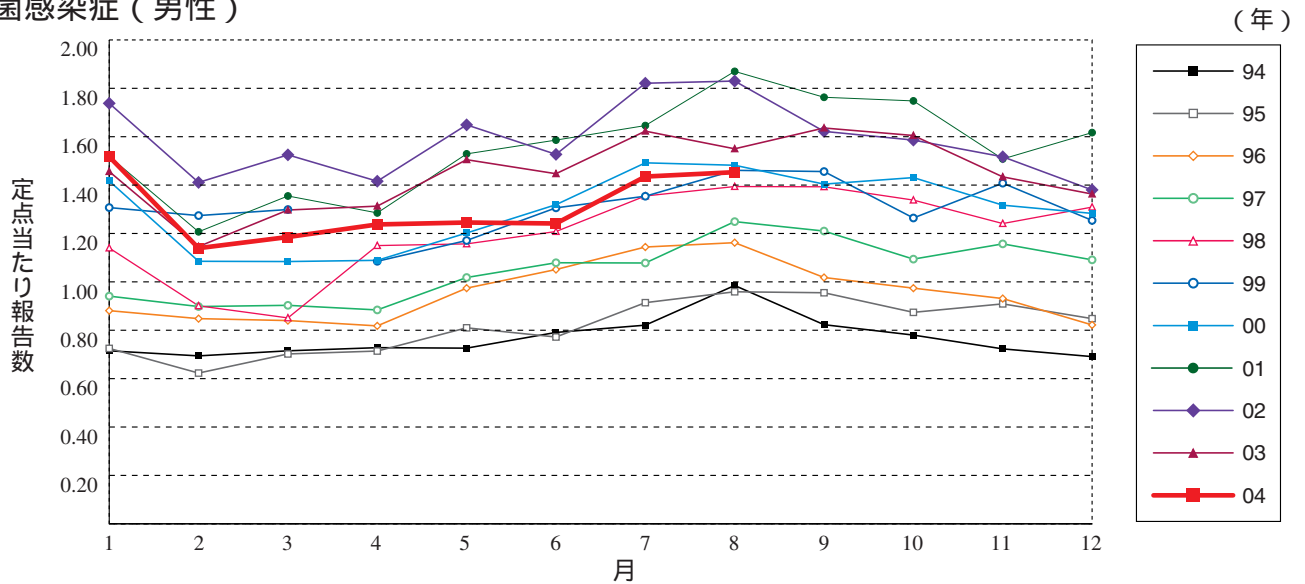
尖圭コンジローマ（女性）



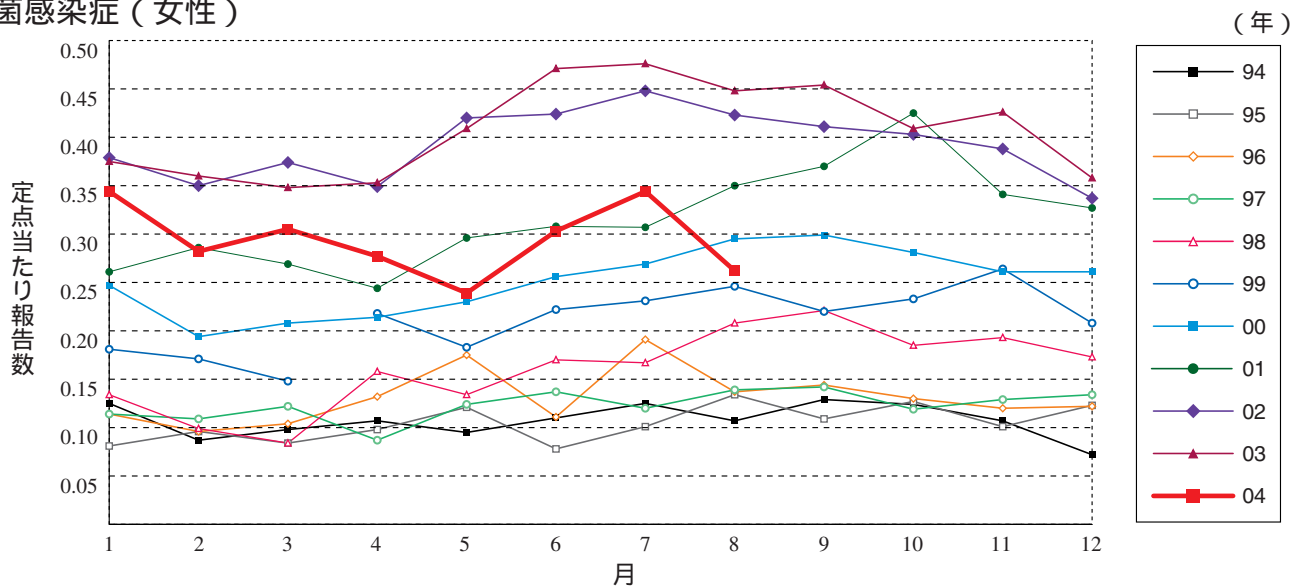
淋菌感染症（総数）



淋菌感染症（男性）

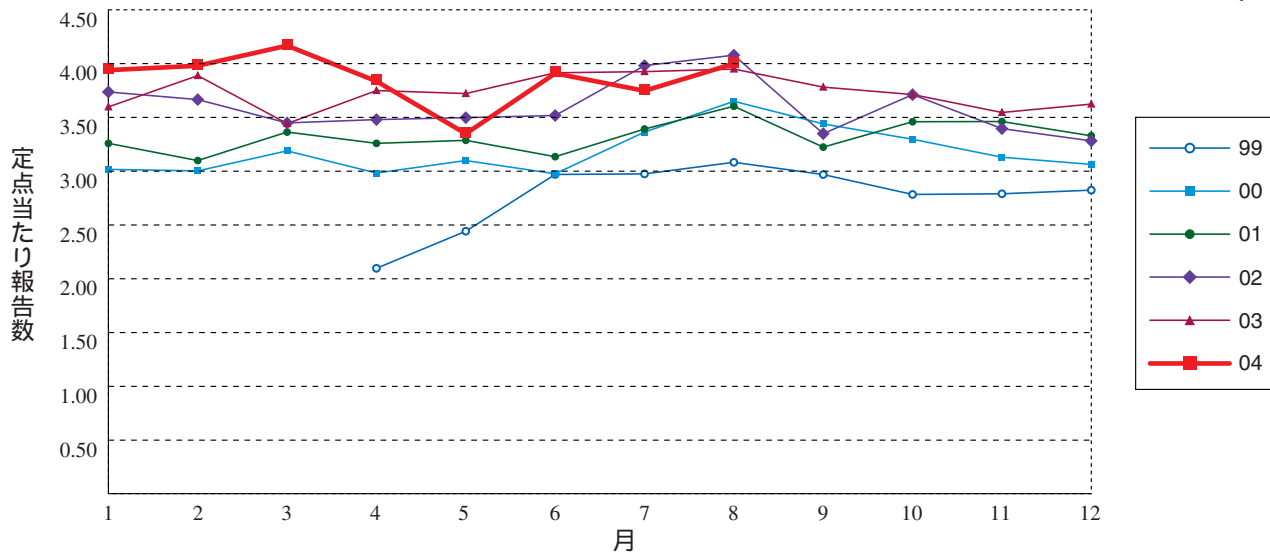


淋菌感染症（女性）



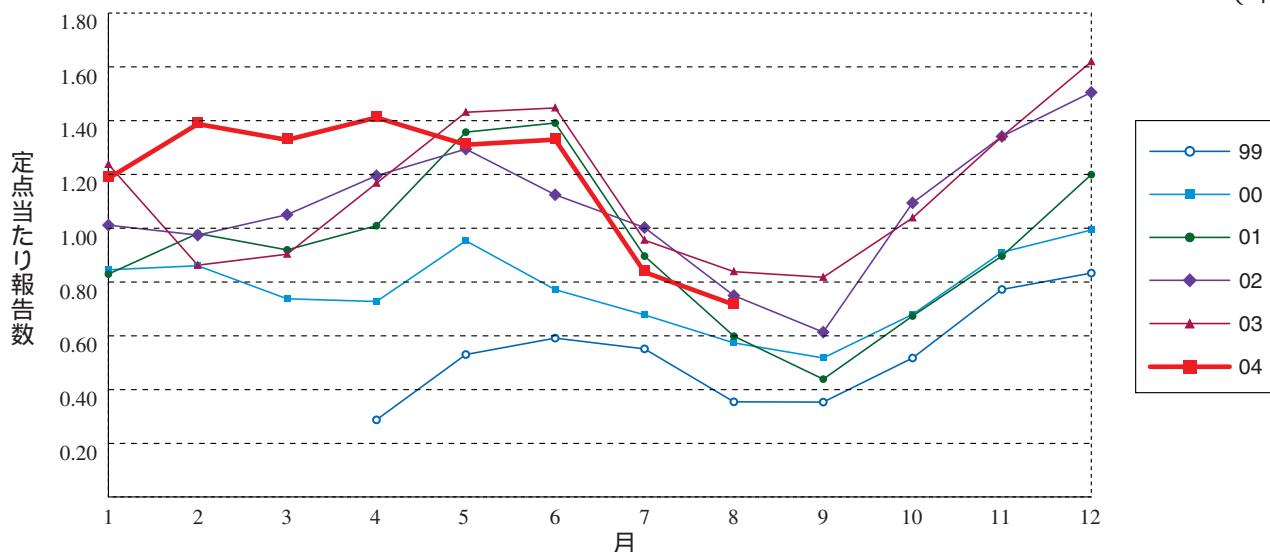
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



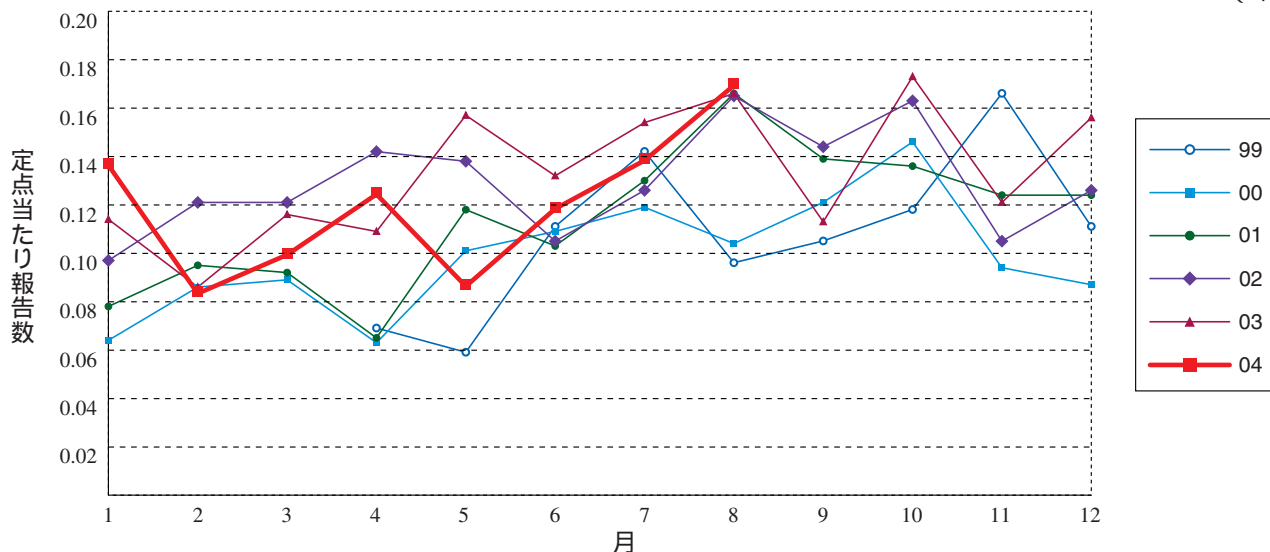
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





8月のデータ

注 9月8日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成16年8月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3255	3.53	766	0.83	566	0.61	1582	1.72	1886	4.01	339	0.72	80	0.17
北海道	211	5.15	58	1.41	39	0.95	84	2.05	41	1.71	-	-	-	-
青森県	43	3.31	15	1.15	10	0.77	20	1.54	6	1.00	-	-	-	-
岩手県	52	4.00	6	0.46	6	0.46	21	1.62	87	4.35	11	0.55	7	0.35
宮城県	82	4.56	21	1.17	17	0.94	38	2.11	53	4.42	5	0.42	7	0.58
秋田県	38	2.71	3	0.21	10	0.71	22	1.57	30	4.29	6	0.86	-	-
山形県	37	3.70	6	0.60	3	0.30	6	0.60	46	4.60	5	0.50	3	0.30
福島県	63	3.94	13	0.81	21	1.31	39	2.44	18	2.57	3	0.43	1	0.14
茨城県	109	5.19	15	0.71	8	0.38	34	1.62	31	3.10	2	0.20	2	0.20
栃木県	59	3.69	21	1.31	20	1.25	43	2.69	47	6.71	4	0.57	2	0.29
群馬県	115	4.60	17	0.68	5	0.20	56	2.24	55	5.50	-	-	3	0.30
埼玉県	192	3.76	44	0.86	15	0.29	72	1.41	21	2.33	-	-	3	0.33
千葉県	151	3.97	29	0.76	31	0.82	63	1.66	36	4.00	83	9.22	-	-
東京都	177	4.32	49	1.20	44	1.07	111	2.71	167	6.68	13	0.52	7	0.28
神奈川県	123	2.05	17	0.28	13	0.22	60	1.00	22	2.00	18	1.64	-	-
新潟県	36	1.80	6	0.30	12	0.60	48	2.40	57	4.38	7	0.54	-	-
富山県	14	2.00	3	0.43	1	0.14	10	1.43	29	5.80	16	3.20	1	0.20
石川県	24	2.40	5	0.50	3	0.30	9	0.90	12	2.40	1	0.20	-	-
福井県	9	1.80	2	0.40	2	0.40	3	0.60	28	4.67	8	1.33	-	-
山梨県	3	0.50	-	-	1	0.17	6	1.00	18	1.80	7	0.70	2	0.20
長野県	40	2.50	6	0.38	3	0.19	24	1.50	20	1.82	6	0.55	2	0.18
岐阜県	30	2.00	3	0.20	5	0.33	22	1.47	14	2.80	-	-	-	-
静岡県	67	2.23	16	0.53	5	0.17	14	0.47	76	7.60	9	0.90	2	0.20
愛知県	203	3.98	43	0.84	50	0.98	101	1.98	61	4.69	-	-	-	-
三重県	18	1.20	8	0.53	3	0.20	9	0.60	46	5.11	-	-	-	-
滋賀県	7	0.78	-	-	3	0.33	9	1.00	53	7.57	-	-	-	-
京都府	57	2.48	20	0.87	4	0.17	12	0.52	22	3.14	-	-	-	-
大阪府	370	6.17	129	2.15	79	1.32	162	2.70	48	3.43	8	0.57	1	0.07
兵庫県	124	2.64	27	0.57	27	0.57	52	1.11	18	1.29	5	0.36	1	0.07
奈良県	21	2.33	5	0.56	1	0.11	15	1.67	39	6.50	2	0.33	2	0.33
和歌山県	14	1.75	3	0.38	4	0.50	10	1.25	47	4.27	3	0.27	4	0.36
鳥取県	14	2.80	-	-	-	-	5	1.00	28	5.60	-	-	2	0.40
島根県	21	3.50	2	0.33	6	1.00	7	1.17	52	6.50	17	2.13	-	-
岡山県	79	4.65	13	0.76	13	0.76	37	2.18	18	3.60	-	-	2	0.40
広島県	65	2.41	18	0.67	13	0.48	23	0.85	101	4.81	26	1.24	10	0.48
山口県	31	2.58	12	1.00	3	0.25	16	1.33	55	6.11	12	1.33	5	0.56
徳島県	12	2.00	4	0.67	5	0.83	1	0.17	9	1.29	-	-	-	-
香川県	27	3.86	7	1.00	6	0.86	13	1.86	29	7.25	5	1.25	3	0.75
愛媛県	19	1.73	6	0.55	5	0.45	13	1.18	21	3.50	-	-	-	-
高知県	6	1.00	1	0.17	1	0.17	4	0.67	47	5.88	19	2.38	1	0.13
福岡県	182	4.92	38	1.03	34	0.92	115	3.11	33	2.20	8	0.53	-	-
佐賀県	31	4.43	4	0.57	1	0.14	13	1.86	42	7.00	9	1.50	3	0.50
長崎県	32	3.20	11	1.10	5	0.50	16	1.60	5	0.42	1	0.08	-	-
熊本県	88	6.29	15	1.07	7	0.50	36	2.57	65	4.33	5	0.33	1	0.07
大分県	19	1.90	9	0.90	3	0.30	11	1.10	39	3.90	10	1.00	1	0.10
宮崎県	38	3.45	9	0.82	2	0.18	45	4.09	32	4.57	3	0.43	1	0.14
鹿児島県	65	4.06	24	1.50	8	0.50	44	2.75	27	2.25	-	-	1	0.08
沖縄県	37	3.08	3	0.25	9	0.75	8	0.67	35	5.00	2	0.29	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成16年8月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1417	1.54	302	0.33	328	0.36	1340	1.45	1222	2.60	212	0.45	49	0.10
北海道	60	1.46	14	0.34	12	0.29	55	1.34	27	1.13	-	-	-	-
青森県	20	1.54	13	1.00	7	0.54	18	1.38	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	23	1.77	-	-	4	0.31	18	1.38	59	2.95	8	0.40	4	0.20
宮城県	29	1.61	9	0.50	13	0.72	32	1.78	33	2.75	2	0.17	6	0.50
秋田県	22	1.57	2	0.14	6	0.43	17	1.21	22	3.14	2	0.29	-	-
山形県	13	1.30	1	0.10	2	0.20	5	0.50	28	2.80	4	0.40	1	0.10
福島県	19	1.19	2	0.13	5	0.31	32	2.00	9	1.29	1	0.14	1	0.14
茨城県	51	2.43	10	0.48	8	0.38	30	1.43	12	1.20	2	0.20	-	-
栃木県	37	2.31	13	0.81	19	1.19	42	2.63	35	5.00	1	0.14	-	-
群馬県	57	2.28	7	0.28	4	0.16	49	1.96	40	4.00	-	-	1	0.10
埼玉県	63	1.24	15	0.29	6	0.12	61	1.20	17	1.89	-	-	3	0.33
千葉県	64	1.68	12	0.32	25	0.66	57	1.50	23	2.56	55	6.11	-	-
東京都	100	2.44	20	0.49	34	0.83	98	2.39	110	4.40	7	0.28	5	0.20
神奈川県	76	1.27	8	0.13	7	0.12	53	0.88	15	1.36	9	0.82	-	-
新潟県	21	1.05	3	0.15	10	0.50	47	2.35	41	3.15	2	0.15	-	-
富山県	8	1.14	2	0.29	-	-	9	1.29	20	4.00	7	1.40	1	0.20
石川県	12	1.20	3	0.30	2	0.20	7	0.70	11	2.20	1	0.20	-	-
福井県	7	1.40	2	0.40	2	0.40	3	0.60	13	2.17	6	1.00	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	6	1.00	12	1.20	6	0.60	1	0.10
長野県	12	0.75	3	0.19	1	0.06	19	1.19	12	1.09	4	0.36	2	0.18
岐阜県	16	1.07	2	0.13	5	0.33	21	1.40	9	1.80	-	-	-	-
静岡県	16	0.53	2	0.07	4	0.13	11	0.37	46	4.60	4	0.40	1	0.10
愛知県	105	2.06	25	0.49	33	0.65	95	1.86	36	2.77	-	-	-	-
三重県	9	0.60	6	0.40	2	0.13	9	0.60	34	3.78	-	-	-	-
滋賀県	3	0.33	-	-	1	0.11	9	1.00	33	4.71	-	-	-	-
京都府	6	0.26	2	0.09	-	-	5	0.22	16	2.29	-	-	-	-
大阪府	139	2.32	53	0.88	36	0.60	126	2.10	35	2.50	7	0.50	1	0.07
兵庫県	61	1.30	14	0.30	21	0.45	44	0.94	15	1.07	4	0.29	-	-
奈良県	14	1.56	4	0.44	1	0.11	15	1.67	29	4.83	1	0.17	1	0.17
和歌山県	8	1.00	1	0.13	3	0.38	7	0.88	31	2.82	2	0.18	2	0.18
鳥取県	3	0.60	-	-	-	-	5	1.00	16	3.20	-	-	1	0.20
島根県	8	1.33	2	0.33	2	0.33	7	1.17	37	4.63	11	1.38	-	-
岡山県	24	1.41	1	0.06	3	0.18	29	1.71	8	1.60	-	-	2	0.40
広島県	21	0.78	8	0.30	4	0.15	21	0.78	64	3.05	18	0.86	8	0.38
山口県	14	1.17	3	0.25	2	0.17	12	1.00	41	4.56	6	0.67	2	0.22
徳島県	10	1.67	2	0.33	5	0.83	1	0.17	3	0.43	-	-	-	-
香川県	10	1.43	4	0.57	4	0.57	12	1.71	22	5.50	3	0.75	2	0.50
愛媛県	8	0.73	1	0.09	5	0.45	12	1.09	13	2.17	-	-	-	-
高知県	3	0.50	-	-	-	-	2	0.33	32	4.00	14	1.75	-	-
福岡県	113	3.05	14	0.38	17	0.46	107	2.89	19	1.27	7	0.47	-	-
佐賀県	25	3.57	1	0.14	-	-	12	1.71	26	4.33	4	0.67	1	0.17
長崎県	15	1.50	2	0.20	2	0.20	11	1.10	1	0.08	1	0.08	-	-
熊本県	19	1.36	-	-	2	0.14	20	1.43	42	2.80	5	0.33	1	0.07
大分県	9	0.90	5	0.50	2	0.20	7	0.70	21	2.10	6	0.60	1	0.10
宮崎県	23	2.09	1	0.09	1	0.09	44	4.00	18	2.57	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	40	2.50	9	0.56	3	0.19	33	2.06	10	0.83	-	-	-	-
沖縄県	1	0.08	1	0.08	3	0.25	5	0.42	22	3.14	1	0.14	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成16年8月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1838	1.99	464	0.50	238	0.26	242	0.26	664	1.41	127	0.27	31	0.07
北海道	151	3.68	44	1.07	27	0.66	29	0.71	14	0.58	-	-	-	-
青森県	23	1.77	2	0.15	3	0.23	2	0.15	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	29	2.23	6	0.46	2	0.15	3	0.23	28	1.40	3	0.15	3	0.15
宮城県	53	2.94	12	0.67	4	0.22	6	0.33	20	1.67	3	0.25	1	0.08
秋田県	16	1.14	1	0.07	4	0.29	5	0.36	8	1.14	4	0.57	-	-
山形県	24	2.40	5	0.50	1	0.10	1	0.10	18	1.80	1	0.10	2	0.20
福島県	44	2.75	11	0.69	16	1.00	7	0.44	9	1.29	2	0.29	-	-
茨城県	58	2.76	5	0.24	-	-	4	0.19	19	1.90	-	-	2	0.20
栃木県	22	1.38	8	0.50	1	0.06	1	0.06	12	1.71	3	0.43	2	0.29
群馬県	58	2.32	10	0.40	1	0.04	7	0.28	15	1.50	-	-	2	0.20
埼玉県	129	2.53	29	0.57	9	0.18	11	0.22	4	0.44	-	-	-	-
千葉県	87	2.29	17	0.45	6	0.16	6	0.16	13	1.44	28	3.11	-	-
東京都	77	1.88	29	0.71	10	0.24	13	0.32	57	2.28	6	0.24	2	0.08
神奈川県	47	0.78	9	0.15	6	0.10	7	0.12	7	0.64	9	0.82	-	-
新潟県	15	0.75	3	0.15	2	0.10	1	0.05	16	1.23	5	0.38	-	-
富山県	6	0.86	1	0.14	1	0.14	1	0.14	9	1.80	9	1.80	-	-
石川県	12	1.20	2	0.20	1	0.10	2	0.20	1	0.20	-	-	-	-
福井県	2	0.40	-	-	-	-	-	-	15	2.50	2	0.33	-	-
山梨県	3	0.50	-	-	1	0.17	-	-	6	0.60	1	0.10	1	0.10
長野県	28	1.75	3	0.19	2	0.13	5	0.31	8	0.73	2	0.18	-	-
岐阜県	14	0.93	1	0.07	-	-	1	0.07	5	1.00	-	-	-	-
静岡県	51	1.70	14	0.47	1	0.03	3	0.10	30	3.00	5	0.50	1	0.10
愛知県	98	1.92	18	0.35	17	0.33	6	0.12	25	1.92	-	-	-	-
三重県	9	0.60	2	0.13	1	0.07	-	-	12	1.33	-	-	-	-
滋賀県	4	0.44	-	-	2	0.22	-	-	20	2.86	-	-	-	-
京都府	51	2.22	18	0.78	4	0.17	7	0.30	6	0.86	-	-	-	-
大阪府	231	3.85	76	1.27	43	0.72	36	0.60	13	0.93	1	0.07	-	-
兵庫県	63	1.34	13	0.28	6	0.13	8	0.17	3	0.21	1	0.07	1	0.07
奈良県	7	0.78	1	0.11	-	-	-	-	10	1.67	1	0.17	1	0.17
和歌山県	6	0.75	2	0.25	1	0.13	3	0.38	16	1.45	1	0.09	2	0.18
鳥取県	11	2.20	-	-	-	-	-	-	12	2.40	-	-	1	0.20
島根県	13	2.17	-	-	4	0.67	-	-	15	1.88	6	0.75	-	-
岡山県	55	3.24	12	0.71	10	0.59	8	0.47	10	2.00	-	-	-	-
広島県	44	1.63	10	0.37	9	0.33	2	0.07	37	1.76	8	0.38	2	0.10
山口県	17	1.42	9	0.75	1	0.08	4	0.33	14	1.56	6	0.67	3	0.33
徳島県	2	0.33	2	0.33	-	-	-	-	6	0.86	-	-	-	-
香川県	17	2.43	3	0.43	2	0.29	1	0.14	7	1.75	2	0.50	1	0.25
愛媛県	11	1.00	5	0.45	-	-	1	0.09	8	1.33	-	-	-	-
高知県	3	0.50	1	0.17	1	0.17	2	0.33	15	1.88	5	0.63	1	0.13
福岡県	69	1.86	24	0.65	17	0.46	8	0.22	14	0.93	1	0.07	-	-
佐賀県	6	0.86	3	0.43	1	0.14	1	0.14	16	2.67	5	0.83	2	0.33
長崎県	17	1.70	9	0.90	3	0.30	5	0.50	4	0.33	-	-	-	-
熊本県	69	4.93	15	1.07	5	0.36	16	1.14	23	1.53	-	-	-	-
大分県	10	1.00	4	0.40	1	0.10	4	0.40	18	1.80	4	0.40	-	-
宮崎県	15	1.36	8	0.73	1	0.09	1	0.09	14	2.00	2	0.29	-	-
鹿児島県	25	1.56	15	0.94	5	0.31	11	0.69	17	1.42	-	-	1	0.08
沖縄県	36	3.00	2	0.17	6	0.50	3	0.25	13	1.86	1	0.14	-	-

注 9月22日集計分

新登録患者数・都道府県別

平成16年8月

	結核
	報告数
総数	2469
北海道	75
青森県	27
岩手県	17
宮城県	36
秋田県	15
山形県	12
福島県	37
茨城県	41
栃木県	34
群馬県	25
埼玉県	131
千葉県	121
東京都	325
神奈川県	148
新潟県	37
富山県	13
石川県	21
福井県	20
山梨県	12
長野県	21
岐阜県	37
静岡県	76
愛知県	165
三重県	35
滋賀県	17
京都府	48
大阪府	293
兵庫県	124
奈良県	26
和歌山県	27
鳥取県	13
島根県	8
岡山県	22
広島県	37
山口県	27
徳島県	12
香川県	14
愛媛県	24
高知県	10
福岡県	115
佐賀県	21
長崎県	20
熊本県	20
大分県	27
宮崎県	22
鹿児島県	38
沖縄県	23



38週のデータ

注)表中の報告数は9月24日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年38週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	65	14	414	-	49	5	61
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	16	-	2	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	1	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	22	-	1	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	1	31	-	3	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	3	92	-	12	13
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	21	-	5	1	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	6	-	2	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	4	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	19	-	5	-	8
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	1	-	4
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	40	-	3	1	5
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	19	-	5	1	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	11	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	1	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年38週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	96	2914	7	417	-	22	-	-	-	31	-	-	4	208
北海道	-	-	-	-	-	52	1	11	-	22	-	-	-	1	-	-	-	9
青森県	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	1	116	3	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	3	42	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	16	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	4	43	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1	18	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	3	32	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	3	76	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	2	72	-	17	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	5	106	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	6	220	-	98	-	-	-	-	-	2	-	-	2	43
神奈川県	-	-	-	-	3	80	1	22	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	-	-	21	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	1	17	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	-	167	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	35	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
長野県	-	-	-	-	2	55	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	30	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
静岡県	-	-	-	-	3	56	-	15	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	2	142	-	35	-	-	-	-	-	1	-	-	1	6
三重県	-	-	-	-	-	73	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	18	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	1	59	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	3	178	-	45	-	-	-	-	-	6	-	-	-	23
兵庫県	-	-	-	-	3	123	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
奈良県	-	-	-	-	4	42	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
和歌山県	-	-	-	-	-	14	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	22	41	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	1	163	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	5	75	1	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	42	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	54	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	74	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	5	135	-	15	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	3	35	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	64	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	3	78	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	1	24	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	1	34	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	3	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	27	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年38週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	2	84	1	118	-	43	15	810	1	3	3	63	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	6	-	2	-	8	-	-	-	3	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	10	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	15	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	11	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	7	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	27	-	4	-	1	27	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	2	49	-	4	-	2	40	-	-	1	9	-	-	
東京都	-	1	-	-	-	7	-	12	-	5	306	-	-	-	16	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	47	-	1	-	1	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	5	-	-	-	2	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	2	2	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	7	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	32	-	1	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	26	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2	52	-	-	-	2	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	7	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	
京都府	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	14	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	4	85	1	1	-	6	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	3	17	-	-	1	5	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	4	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-	-	1	4	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	12	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	13	-	-	-	1	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	11	-	-	-	2	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年38週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	19	-	5	-	-	-	99	-	33	5	41	-	3	5	358	-	67
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	4
青森県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	7	-	2
東京都	-	5	-	3	-	-	-	5	-	22	-	-	-	-	1	46	-	1
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	11	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	3
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	1	25	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	12	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	10	-	-	-	1	-	1
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	9	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	7	-	1
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	1	11	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	6	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	5	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	19	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	-	-	-	4	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	2	-	-	-	7	-	5
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年38週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	45	-	-	-	-	-	-	-	-	3	49	-	3	1	101
北海道	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	13
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
奈良県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年38週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	22	-	-	3	110	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	3	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年38週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	6	-	48	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	1	3	-	6	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年38週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	12	0.00	674	0.22	1744	0.57	7412	2.44	1308	0.43	3496	1.15	446	0.15	2580	0.85	44	0.01
北海道	4	0.02	44	0.31	163	1.14	156	1.09	78	0.55	332	2.32	13	0.09	98	0.69	-	-
青森県	-	-	3	0.07	32	0.76	38	0.90	9	0.21	12	0.29	3	0.07	26	0.62	-	-
岩手県	-	-	5	0.14	13	0.36	52	1.44	16	0.44	14	0.39	3	0.08	25	0.69	1	0.03
宮城県	-	-	5	0.08	59	1.00	148	2.51	27	0.46	101	1.71	15	0.25	67	1.14	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	23	0.66	85	2.43	13	0.37	15	0.43	2	0.06	26	0.74	-	-
山形県	-	-	12	0.40	40	1.33	49	1.63	17	0.57	2	0.07	4	0.13	31	1.03	2	0.07
福島県	-	-	9	0.19	51	1.06	193	4.02	22	0.46	52	1.08	7	0.15	43	0.90	-	-
茨城県	1	0.01	9	0.12	33	0.45	94	1.27	27	0.36	66	0.89	2	0.03	32	0.43	-	-
栃木県	-	-	2	0.04	14	0.30	73	1.59	20	0.43	12	0.26	5	0.11	34	0.74	2	0.04
群馬県	-	-	28	0.45	30	0.48	117	1.89	35	0.56	27	0.44	11	0.18	45	0.73	3	0.05
埼玉県	-	-	28	0.18	59	0.37	417	2.64	80	0.51	113	0.72	35	0.22	130	0.82	2	0.01
千葉県	-	-	9	0.07	58	0.46	213	1.69	25	0.20	111	0.88	20	0.16	114	0.90	-	-
東京都	-	-	27	0.19	53	0.37	325	2.29	35	0.25	131	0.92	25	0.18	89	0.63	-	-
神奈川県	1	0.00	17	0.08	88	0.43	439	2.13	54	0.26	138	0.67	38	0.18	194	0.94	-	-
新潟県	-	-	12	0.20	45	0.75	110	1.83	41	0.68	118	1.97	16	0.27	57	0.95	-	-
富山県	-	-	6	0.21	45	1.55	104	3.59	16	0.55	77	2.66	5	0.17	26	0.90	-	-
石川県	-	-	2	0.07	15	0.52	91	3.14	14	0.48	65	2.24	6	0.21	22	0.76	2	0.07
福井県	-	-	36	1.64	11	0.50	149	6.77	40	1.82	86	3.91	1	0.05	20	0.91	-	-
山梨県	1	0.02	1	0.04	14	0.56	28	1.12	6	0.24	19	0.76	1	0.04	14	0.56	-	-
長野県	-	-	21	0.38	38	0.69	160	2.91	13	0.24	96	1.75	9	0.16	39	0.71	-	-
岐阜県	4	0.05	2	0.04	14	0.26	56	1.06	19	0.36	12	0.23	7	0.13	28	0.53	-	-
静岡県	-	-	29	0.34	30	0.35	272	3.16	43	0.50	114	1.33	13	0.15	83	0.97	-	-
愛知県	-	-	29	0.16	68	0.37	429	2.36	67	0.37	86	0.47	36	0.20	155	0.85	6	0.03
三重県	-	-	10	0.22	22	0.49	219	4.87	32	0.71	62	1.38	6	0.13	57	1.27	1	0.02
滋賀県	-	-	12	0.36	1	0.03	39	1.18	14	0.42	16	0.48	3	0.09	22	0.67	-	-
京都府	-	-	14	0.18	21	0.28	207	2.72	19	0.25	41	0.54	9	0.12	39	0.51	-	-
大阪府	-	-	31	0.16	95	0.49	440	2.26	69	0.35	140	0.72	10	0.05	136	0.70	2	0.01
兵庫県	-	-	23	0.18	88	0.69	381	2.98	44	0.34	80	0.63	25	0.20	109	0.85	1	0.01
奈良県	-	-	5	0.14	16	0.46	66	1.89	13	0.37	15	0.43	3	0.09	18	0.51	1	0.03
和歌山県	-	-	1	0.03	12	0.39	58	1.87	17	0.55	34	1.10	5	0.16	24	0.77	-	-
鳥取県	-	-	-	-	29	1.53	89	4.68	9	0.47	4	0.21	3	0.16	24	1.26	2	0.11
島根県	-	-	9	0.39	10	0.43	107	4.65	9	0.39	10	0.43	2	0.09	29	1.26	-	-
岡山県	-	-	14	0.26	19	0.35	146	2.70	18	0.33	11	0.20	8	0.15	40	0.74	2	0.04
広島県	-	-	47	0.63	35	0.47	259	3.45	28	0.37	20	0.27	6	0.08	69	0.92	2	0.03
山口県	-	-	14	0.29	50	1.02	154	3.14	16	0.33	25	0.51	9	0.18	60	1.22	-	-
徳島県	-	-	4	0.17	16	0.70	61	2.65	8	0.35	6	0.26	4	0.17	28	1.22	-	-
香川県	-	-	1	0.03	10	0.31	57	1.78	11	0.34	2	0.06	4	0.13	32	1.00	-	-
愛媛県	-	-	7	0.18	41	1.05	167	4.28	26	0.67	38	0.97	3	0.08	51	1.31	1	0.03
高知県	-	-	26	0.84	13	0.42	42	1.35	18	0.58	98	3.16	-	-	20	0.65	-	-
福岡県	-	-	23	0.19	80	0.67	385	3.21	89	0.74	240	2.00	25	0.21	138	1.15	4	0.03
佐賀県	-	-	3	0.13	14	0.61	18	0.78	15	0.65	17	0.74	6	0.26	36	1.57	-	-
長崎県	-	-	14	0.32	21	0.48	90	2.05	16	0.36	54	1.23	2	0.05	37	0.84	-	-
熊本県	-	-	37	0.76	31	0.63	137	2.80	24	0.49	131	2.67	9	0.18	55	1.12	1	0.02
大分県	-	-	5	0.14	58	1.61	155	4.31	19	0.53	134	3.72	10	0.28	34	0.94	-	-
宮崎県	-	-	27	0.73	36	0.97	168	4.54	28	0.76	319	8.62	7	0.19	49	1.32	1	0.03
鹿児島県	-	-	5	0.09	24	0.44	150	2.73	38	0.69	176	3.20	7	0.13	56	1.02	7	0.13
沖縄県	1	0.02	5	0.15	6	0.18	19	0.56	11	0.32	24	0.71	3	0.09	19	0.56	1	0.03

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年38週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	36	0.01	1459	0.48	7	0.00	2300	0.76	26	0.04	502	0.79	4	0.01	14	0.03	71	0.15
北海道	-	-	169	1.18	-	-	50	0.35	-	-	19	0.66	-	-	1	0.04	2	0.09
青森県	3	0.07	64	1.52	-	-	20	0.48	-	-	1	0.09	-	-	-	-	2	0.33
岩手県	-	-	53	1.47	-	-	27	0.75	-	-	4	0.33	-	-	-	-	3	0.15
宮城県	3	0.05	85	1.44	-	-	14	0.24	1	0.09	-	-	-	-	-	-	3	0.25
秋田県	-	-	32	0.91	-	-	5	0.14	-	-	3	0.43	-	-	-	-	7	1.00
山形県	-	-	49	1.63	-	-	19	0.63	-	-	3	0.38	-	-	-	-	4	0.40
福島県	-	-	71	1.48	-	-	28	0.58	-	-	13	1.08	-	-	-	-	3	0.43
茨城県	-	-	21	0.28	-	-	25	0.34	-	-	29	1.81	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	7	0.15	-	-	13	0.28	-	-	9	0.75	-	-	4	0.57	-	-
群馬県	-	-	58	0.94	-	-	54	0.87	-	-	26	1.86	-	-	2	0.20	7	0.70
埼玉県	1	0.01	38	0.24	1	0.01	120	0.76	1	0.03	29	0.78	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.02	26	0.21	-	-	117	0.93	-	-	11	0.34	-	-	-	-	-	-
東京都	3	0.02	37	0.26	2	0.01	57	0.40	-	-	16	1.14	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	8	0.04	98	0.48	1	0.00	128	0.62	-	-	28	0.67	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	58	0.97	-	-	36	0.60	-	-	2	0.22	-	-	-	-	2	0.17
富山県	-	-	15	0.52	-	-	13	0.45	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20
石川県	1	0.03	5	0.17	-	-	9	0.31	-	-	3	0.43	2	0.40	-	-	-	-
福井県	1	0.05	1	0.05	-	-	48	2.18	-	-	1	0.33	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	-	-	11	0.44	-	-	1	0.04	-	-	-	-	-	-	1	0.10	2	0.20
長野県	-	-	61	1.11	-	-	20	0.36	1	0.09	1	0.09	-	-	-	-	3	0.27
岐阜県	-	-	5	0.09	-	-	74	1.40	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	80	0.93	1	0.01	58	0.67	-	-	10	0.50	-	-	-	-	2	0.20
愛知県	4	0.02	51	0.28	-	-	183	1.01	-	-	40	1.14	-	-	-	-	7	0.54
三重県	1	0.02	9	0.20	-	-	31	0.69	-	-	1	0.08	1	0.11	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	8	0.24	-	-	27	0.82	-	-	1	0.14	-	-	3	0.43	-	-
京都府	2	0.03	15	0.20	-	-	40	0.53	-	-	17	0.94	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	48	0.25	1	0.01	186	0.95	2	0.04	29	0.59	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	-	-	37	0.29	-	-	93	0.73	1	0.03	23	0.66	-	-	-	-	3	0.25
奈良県	-	-	3	0.09	-	-	23	0.66	-	-	6	0.67	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	14	0.45	-	-	44	1.42	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	8	0.42	-	-	5	0.26	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.04	9	0.39	-	-	12	0.52	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	14	0.26	-	-	31	0.57	-	-	3	0.25	-	-	-	-	1	0.20
広島県	-	-	30	0.40	-	-	84	1.12	1	0.05	39	1.95	-	-	2	0.11	4	0.21
山口県	-	-	12	0.24	-	-	54	1.10	-	-	9	1.00	-	-	-	-	4	0.44
徳島県	-	-	4	0.17	-	-	9	0.39	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	5	0.16	-	-	24	0.75	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	13	0.33	-	-	43	1.10	17	2.43	19	2.71	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	22	0.71	-	-	12	0.39	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.22
福岡県	1	0.01	23	0.19	1	0.01	222	1.85	1	0.04	18	0.69	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	82	3.57	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	6	0.14	-	-	13	0.30	-	-	9	1.13	-	-	-	-	2	0.17
熊本県	-	-	38	0.78	-	-	37	0.76	-	-	14	1.56	-	-	1	0.07	2	0.13
大分県	-	-	15	0.42	-	-	29	0.81	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	11	0.30	-	-	51	1.38	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	12	0.22	-	-	21	0.38	-	-	12	1.71	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	7	0.21	-	-	8	0.24	-	-	30	3.00	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年38週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	3	0.01	-	-	39
北海道	-	-	-	-	5
青森県	-	-	-	-	5
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	...
山形県	-	-	-	-	2
福島県	2	0.29	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	...
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	6
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	5

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第38号 平成16年10月1日発行
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。